

小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会  
調査検討最終報告書

自 令和 5年 12月  
至 令和 7年 1月

小諸市議会

# 目 次

第1. はじめに	1
第2. 委員会への付託事件	2
第3. 委員会構成と進め方	2
第4. 議員定数・議員報酬の決定要因となる基礎資料の収集	2
(1) 議員定数、議員報酬等に関する調査	2
(2) 人口の推移、市税の推移、議員定数及び市長・議員報酬の推移	3
(3) 議員報酬に関連しての活動量調査の比較	4
(4) 講習会や図書等に掲載された識者の議員定数・議員報酬等 に対する意見	
① 三浦 正士 氏	5
② 中邨 章 氏	5
③ 林 紀行 氏	5
④ 野村 稔 氏	6
⑤ 廣瀬 克哉 氏	6
第5. 委員会等の開催状況	7
第6. 委員会審査、検討の考え方	8
(1) 議員定数とは	8
(2) 議員報酬とは	8
第7. 委員会としての議員定数・議員報酬に関する論点・留意点	9
第8. 議員定数及び議員報酬等に対する委員会の中間報告	9
第9. 報告内容の論拠	10, 11
第10. 中間報告後の委員会等の開催状況	12
第11. 中間報告に対する市民の皆様の意見聴取	
(1) 市民アンケート	12
(2) 意見交換会	13
(3) パブリックコメント	14
第12. 識者（専門家）による助言	15
第13. 最終報告・まとめ	16, 17
添付資料NO1	…… 類似団体との比較一覧表
添付資料NO2	…… 県下19市との比較一覧表
添付資料NO3	…… 議員定数・議員報酬の変更に伴う議会費の比較表
添付資料NO4	…… 市民アンケート結果
添付資料NO5	…… 意見交換会結果
添付資料NO6	…… パブリックコメント結果

## 1. はじめに

小諸市は、昭和29年4月1日に小諸町と三岡村、南大井村が合併して市制を発足し、昭和32年4月1日に北佐久郡御代田町の一部を編入、昭和34年4月1日に小県郡東部町の一部を編入して現在の小諸市の姿になっています。

本市の議員定数は、地方自治法第91条に基づき「小諸市議会議員の定数に関する条例」によって小諸市制発足当時の30人から議員定数の削減を行い、現在は19人と定めています。

市政発足から現在までの間、地方分権改革や地域主権改革が推進され、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中、全国の各議会では議会改革や議会活性化の取り組むとともに、議員定数、議員報酬等を議論する動きも活発化しています。

そのような状況の中、平成23年に地方自治法の一部が改正されたことにより、これまで人口区分に応じて定められていた議員定数の上限が撤廃され、各自治体が条例で定める仕組みへと変わり、議員定数は地方議会が自らの裁量と判断によって決定することとなっています。

また、平成21年3月30日に総務省に「地方議会議員年金制度検討会」が設置されて検討がおこなわれ、平成23年6月1日に地方議会議員年金制度が廃止となり、60才以下の地方議会議員は国民年金等に個人的に加入する状況となっています。

本市議会では、分権時代にふさわしい議会を目指すため、議会改革・議会の活性化を進める中で、現行の議会制度等をあらゆる角度から検証することも含め、平成28年12月議会において、議会運営及び議員活動に関する最高規範として「小諸市議会基本条例」を制定しています。

一方、平成31年1月に実施された市議会議員選挙では、市制発足以来初めて無投票という結果でした。そのことを踏まえ「議会と語る会」のテーマを「市議選の無投票を市民と考える」として多くの市民の皆様と意見交換を行う中で「議員定数」や「議員報酬」について様々な意見交換が行われました。こうした活動もあり、令和5年1月の選挙では女性や幅広い年代の立候補者が相次ぎ議員定数より立候補者が上回りました。

議会では、小諸市議会基本条例第25条の規定により議会運営が行われているか検証し、その結果に基づいて必要があるときは見直しを行うものとする規定に基づき次期選挙の1年前（令和7年12月）までに議員定数及び議員報酬等について調査検討する目的のため「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」において調査検討を進めてきました。

## 2. 委員会への付託事件

### 議員定数・議員報酬等に関する調査検討

○小諸市議会議員の定数に関する条例

平成25年12月20日

条例第40号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第91条第1項の規定により、小諸市議会議員の定数を19人とする。

○小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

平成10年10月1日

条例第29号

(議員報酬)

第1条 議会の議長、副議長及び議員の議員報酬は次のとおりとする。

議長 月額 418,000円 ⇒ 月額 427,000円 に変更

副議長 月額 347,000円 ⇒ 月額 354,000円 に変更

議員 月額 326,000円 ⇒ 月額 333,000円 に変更

## 3. 委員会構成と進め方

委員は8人とし、付託事件である議員定数、議員報酬等に関する調査検討を進めるに当たり、委員会運営の基本的な考え方や進め方として、①日程表の作成、②基礎資料等の調査・収集、③調査資料等の比較・分析、④各委員の意見発表(協議・検討)、⑤意見集約、⑥委員会としての中間報告書の作成・報告を全議員に示すとともに、令和7年2月までに最終報告を取りまとめることとしました。

## 4. 議員定数・議員報酬の決定要因となる基礎資料の収集

調査検討に当たっての基礎資料等の収集については次のとおりです。

### (1) 議員定数、議員報酬等に関する調査

① 全国の人口39,000人～44,000人の35市との比較検討 **資料NO1**

② 長野県の19市との比較検討 **資料NO2**

上記①、②の比較において、県内19市の比較では自治体規模の違いが大きいことから、全国の人口39,000人～44,000人の小諸市を含む35市を対象として比較検討しました。

③ 市長、議員の活動量比較と公務員、民間企業との勤務日数及び給料の比較

**資料NO1**のとおり、議員定数では、類似団体35市の平均が17.9人であり、小諸市より1.1人少ない状況でした。

類似団体の平均報酬は、349,253円であり、小諸市より16,253円高い状況でした。

## (2) 人口の推移、市税の推移、議員定数及び市長・議員報酬の推移

平成14年を起点として、人口・市税・議員定数の推移の一覧

年度	項目 人口 (人)	市税 (億円)	議員定数 (人)	議員報酬 (円)	市長報酬 (円)	参考事項
昭和30年			30			
昭和58年			28			
平成3年			26	326,000		
平成10年			26	333,000		議員報酬改正
平成11年			24	333,000		定数改正
平成14年	45,007	52.5	24	333,000		
<b>平成15年</b>	44,918	49.6	24	333,000		
平成16年	44,816	49.6	24	333,000	759,000	
平成17年	44,593	49.6	24	333,000	759,000	
平成18年	44,523	50.2	24	333,000	759,000	
<b>平成19年</b>	44,306	56.9	21	333,000	759,000	定数改正
平成20年	44,268	56.9	21	333,000	893,000	市長報酬改正
平成21年	43,948	52.1	21	333,000	893,000	
平成22年	43,755	50.1	21	333,000	893,000	
<b>平成23年</b>	43,602	51.5	21	333,000	893,000	年金廃止
平成24年	44,046	49.9	21	333,000	893,000	
平成25年	43,717	49.7	21	333,000	893,000	
平成26年	43,559	50.7	21	333,000	893,000	
<b>平成27年</b>	43,350	52.5	19	333,000	893,000	定数改正
平成28年	43,121	52.6	19	333,000	893,000	
平成29年	42,714	51.3	19	333,000	893,000	
平成30年	42,594	51.3	19	333,000	893,000	
<b>令和1年</b>	42,364	52.2	19	333,000	893,000	
令和2年	41,954	54.8	19	333,000	893,000	
令和3年	41,839	54.1	19	333,000	893,000	
令和4年	41,649	55.3	19	333,000	893,000	
令和5年	41,562	57.4	19	333,000	893,000	

### (3) 議員報酬に関連しての活動量調査の比較

- ① 議員の活動量（日数）と報酬    ② 理事者の活動量（日数）と報酬  
 ③ 市職員の勤務日（日数）と給料    ④ 民間企業の勤務日（日数）と給料

※ 議員の活動量に、ボランティア活動は入っていません。

項目 職別	月活動量 (日)	報酬・給料 (千円/月)	期末手当 寒冷地手当	通勤手当 費用弁償	扶養手当 住居手当 時間外手当	退職金	年金 健康保険 補助 50%
議員	11.78	333	△	○	×	×	×
市長	25.4	893	○	○	×	○	○
市職員	20	40才代 398	○	○	○	○	○
		50才代 456	○	○	○	○	○
民間企業	20	40才代 456	○	○	○	○	○
		50才代 566	○	○	○	○	○

※給料については、長野県人事委員会の給料資料を参考としました。

#### 活動量の実態から議員報酬を考える

市長と議員の活動時間を3カ月間調査した合計時間を市役所職員の勤務時間である1日を7時間45分で除した結果は、

市長の月平均日数 =  $76.24 \div 3$ ヶ月 = 25.41日

議員の月平均日数 =  $35.34 \div 3$ ヶ月 = 11.78日

#### 考 察

1. 活動日数では、市長は議員の2.17倍であった。

2. 月額報酬では、市長は議員の2.68倍であった。

(退職金・社会保障費は考慮しない数値)

※市長の職務遂行日数は年間305日：モデル値として設定

#### (4) 講習会や図書等に掲載された識者の議員定数・議員報酬等に対する意見

##### ① 三浦 正士氏 (長野県立大学助教授)

令和2年1月22日「第15回長野県地方自治政策課題研修会」

・議員のなり手不足の要因として考えられることとして、「魅力の減退」・「条件の悪さ（報酬の低さ・定数減による当選ラインの上昇等）」そして「地域力の減退」  
として立候補予備軍の衰退（高齢化や農業・自営業の衰退）が上げられる。

・なり手不足の解消として「住民と歩む議会」・「住民福祉の向上に貢献する議会」を目指すため「議員報酬の増額」・「議会事務局の充実」が必要である。

##### ② <sup>なかむら</sup>中邨 章氏 (明治大学政治経済学部教授)「地方議会人」2011年2月号より

###### 抜粋

・地方行政職員の業務の幅広さと活動量を念頭に置くと、議員の数もそれに対応するだけの大きさの維持が必要である。

・議会が行政監視を重要な機能とするのであれば、議員定数削減には慎重になるべきである。

・上記とは異なり、立法府としての役割を重要な機能とするのであれば、議員の数は少数とし、経費を少数の議員に集中すべきである。

##### ③ 林 紀行氏 (日本大学法学部公共政策学科教授)

令和6年3月26日 議員定数・議員報酬についての研修講師を依頼

・適切な議員定数と議員報酬に対する「正解」はない。

議員定数と議員報酬の「根拠」とは何か？

人口・面積・選挙・財政規模・地区数・活動日数 ⇨ 働く議会であれば市民は認める。⇨ 「住民が受ける議会の情報」と現実の議会の活動

①住民は、議員年金や退職金があると思っている。

②議員報酬と手取り額（概算）を分らない。

林教授の手取りの考え…議員報酬：333,000円

所得税 ▲ 6,750円 住民税 ▲ 14,300円

国民年金 ▲ 16,500円 国民健康保険 ▲ 2,700円

介護保険 ▲ 9,600円 手取り額：258,850円

### 研修会で50才代T議員の実情報告

所得税 ▲ 7,751円 住民税 ▲ 21,858円  
国民年金 ▲ 16,920円 国民健康保険 ▲ 37,642円  
介護保険 ▲ 国保に含む **手取り額：248,829円**

・議員報酬は、議員の一定の役務に対する対価として与えられる反対給付（一方の給付に対して対価の意味をもつ他方の給付）である。現実には、「生活給」的扱いがされてきて、「給与的」に支払われてきた。

・小諸市議会基本条例第20条（議員定数）第21条（議員報酬）の規定により

① 議会機能 ②市の政策課題 ③将来都市像 ④人口動態 ⑤財政力  
⑥類似団体との比較 ⑦市民の意見 … を考慮して決定すべきである。

④ 野村 稔氏（元全国都道府県議会議長会調査議事部長）「地方議会の底力」等より抜粋

・議員定数を減らせば経費の節減になるが、執行機関に対する監視力が低下したら、議会としての役割を十分果たすことができず、結果として住民にプラスにならない。

・地方分権が推進、実現されると地方団体の行財政能力が充実強化される。執行機関の権限が強化されるので、チェックする議決機関（議会）も強化しなければ均衡がとれなくなる。

⑤ 廣瀬 克哉氏（法政大学法学部教授）「議員カメールマガジン第12号」より抜粋

・議員定数削減は、住民を代表して自治体をコントロールする代表者を減らしてしまうのだから、政治家が身を切る改革なのではなく、住民の手足をもぐ改革にほかならない。

・議員定数削減は、本来であれば住民にとっての不利益な決定なのだということ を伝える努力と、「皆さんに必要とされる手足となります」という改革意欲を示すことは代表機関として重要である。

## 5. 委員会等の開催状況（中間報告まで）

回次	開催年月日	審議内容
1	令和5年12月19日(火)	・正副委員長の互選
2	令和6年1月10日(水)	・今後の進め方について協議 スケジュール案、班体制（定数班・報酬班・データ班）を決定
3	令和6年1月17日(水)	・検討委員会の資料作成について（資料作成様式を決定） ・識者による研修について協議
4	令和6年1月29日(月)	・定数班・報酬班の資料の内容について協議 調査範囲、照会を行う市議会の決定 調査項目について ・議員の活動量の実態調査について 調査期日、回答期日の協議 調査方法の統一（会場準備、通勤時間、懇親会を含めるか等） 議員活動の分類表について
全協	令和6年2月2日(金)	・全議員へ経過報告 ・活動量の実態調査2月分の提出を依頼
5	令和6年3月19日(月)	・各班からの経過報告 ・市民向けアンケートについて ・識者による研修について協議
6	令和6年3月15日(金)	・類似団体等比較 調査資料等の比較・分析 各委員の意見集約について ・現在の議員定数・議員報酬に対して一覧表項目の項目について ・識者による研修について（確定）
全協	令和6年3月19日(金)	・全議員へ経過報告 ・活動量の実態調査3月分の提出依頼
研修	令和6年3月26日(火)	・日本大学法学部公共政策学科 林 紀行教授による議員の定数及び報酬の検討にともなう研修会
7	令和6年4月9日(火)	・各委員の意見提出に基づく意見交換 ・活動量の実態調査4月分の提出を依頼 ・諏訪市行政視察について
視察	令和6年4月17日(水)	・諏訪市行政視察 議員定数が15人に変更となった経緯と変更後の状況について
8	令和6年5月8日(水)	・議員の活動量2月から4月分の調査結果報告について ・各会派の定数・報酬について意見交換 ・佐久市行政視察について
視察	令和6年5月13日(月)	・佐久市行政視察 議員報酬を増額した根拠及び議員定数を減とした理由など
9・ 10	令和6年6月7・19日	・定数、報酬について各委員・会派の考え方を再度報告 ・市民アンケートについて
11	令和6年6月27日(木)	・定数、報酬について各委員・会派の考え方を再度報告 ・常任委員会構成について協議 ・正副議長の報酬について協議 ・市民アンケートについて ・識者による研修について
12	令和6年7月8日(月)	・議員報酬及び議会費等必要経費に基づく資料を参考に報酬について各委員・会派の考え方を再度検討
13	令和6年7月18日(木)	・議員報酬及び議会費等必要経費に基づく資料を参考に報酬について各委員・会派の考え方を再度報告 ・市民アンケートについて ・中間報告について
14	令和6年8月1日(木)	・中間報告書作成協議

## 6. 委員会審査、検討の考え方

議員定数や議員報酬等を調査検討するに当たっては、多角的な視点で議論を深めていくために論点・留意点を整理し、議論を進めることとしました。

### (1) 議員定数とは

議員定数は、地方自治法第91条に「市町村の議会の議員の定数は、条例で定める。」とされており、第2項で「議員の定数の変更は、一般選挙の場合でなければ、これを行うことができない。」と規定されています。

#### 江藤 俊昭氏（山梨学院大学法学部教授当時）「自治体議会学」より抜粋

- ①議員定数削減によって、政策提言機能・監視機能の低下になってはいけない。
- ②議員定数削減を提案するならば、議会の役割を補完・代替する案が必要である。
- ③議員報酬と議員定数は別の論理で示すべきである。
- ④現在の議員のためではなく、多くの人が将来立候補し、議員活動がしやすい条件として考える必要がある。

### (2) 議員報酬とは

議員報酬は、地方自治法第203条に「その議会の議員に対し議員報酬を支給しなければならない」と定められ、「その額及び支給方法は、条例で定める」とされているが「報酬額」の法令上の基準は存在しない。議員報酬を考える場合には、次の点を確認する必要がある。

#### 【大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭氏 令和4年2月】

- ①住民が議員になるために報酬が必要だという認識に基づいている。
- ②議員は、名誉職でもなければ「非常勤の職員でもない」。「住民自治の根幹」を担う議員が恒常的に活動できる条件として位置づけなければならない。
- ③地域経営において重要な役割を担う議員の条件であるがゆえに条例で定める。「お手盛り」を避けるために、住民の意向を踏まえた条例制定となっている。

（自治省通達）

議員報酬は、「非常勤の職員」の報酬とは異なり、議員に期末手当を支給することができる。また、「非常勤の職員」の報酬は原則的には「その勤務日数に応じて支給する」が、議員はそうではなく月額も可能である。議員報酬は、給与ではなく役務の対価である。議員報酬は生活給でないが、活動量の増大は、生活給的な額が必要ということも内包している。

## 7. 委員会としての議員定数・議員報酬に関する論点・留意点

### 【議員定数】

- ①地方分権や地方創生と議会の役割・機能発揮の視点
- ②近隣市・類似市等との比較からの視点
- ③小諸市の人口推移や財政状況からの視点
- ④行政改革と議会改革・活性化からの視点
- ⑤識者の意見を参考としての視点

### 【議員報酬】

- ①議員報酬額の算出根拠は何を基準にすべきか。
- ②近隣市・類似市等との比較からの視点
- ③市長や市職員、民間企業等の勤務日数と給料との比較からの視点
- ④小諸市の人口推移や財政状況からの視点
- ⑤識者の意見を参考としての視点

## 8. 議員定数及び議員報酬等に対する委員会の中間報告

議員定数・議員報酬等に関する調査結果の比較分析及び論点や留意点の検討について 論点ごとに、各委員が意見を述べ議論を行った中での委員会としての中間報告は次のとおりです。

### 【議員定数の報告】

- ① 議員定数については、増員することへの市民の理解は得られないという多数の委員の意見でありました。
- ② 議員定数については、多数の委員が「削減が必要」という考えであるが、「現状維持」という委員が1名でありました。
  - ①類似団体との比較（平均）＝17.9人現状の議員定数から何人削減するかについて協議をする中で結論に至らず、次回の会議で委員会として意見統一することとしました。
- ③ 協議において、1人削減と2人削減について意見発表と議論を行いましたが一貫を定めることができず、表決により1人削減で委員会としての意見に至りました。

## 【議員報酬の報告】

- ① 議員報酬については、小諸市を含む類似団体35市の議員報酬の平均金額より16,253円低い状況であるので、16,000円から20,000円程度の増額を求める委員が多数であったが、幅広い年代から議員に立候補することができるよう20,000円以上の増額を求める委員が1名であった。
- ② 議員報酬についても意見統一に至らなかったことから、次回の会議で統一を図ることとしました。

協議において、議会費が増額とならない18,000円の増額意見と、生活給的要素を含めて20,000円の増額意見があり、表決により20,000円を増額することで委員会の意見といたしましたが、今後行う①市民アンケート(1,500名)、②パブリックコメント、③市民説明会の意見等を参考として最終的な引き上げとすることで意見統一に至りました。

- ③ 議員報酬の引き上げについては、平成10年10月1日に現在の333,000円に引き上げが行われてから26年間見直しが行われていない状況であるので、引き上げが必要との全委員の意見でありました。

## 9. 報告内容の論拠

現在の地方自治制度のもと、執行機関と議会は対等の関係で、相互に緊張関係を保持しながら協力して自治体運営に当たる責任を有する。そうした中で、議会は多様な民意を反映させ、政策立案や監視機能を効果的に発揮することが求められており、こうした観点からは議員定数は多いほうが望ましく、安易な議員定数削減は議会の弱体化につながる恐れもあります。

しかしながら、当市の人口減少や高齢化の進展による厳しい財政状況等を考慮すると現状より議員定数の増員や議員報酬を増やすことは市民の皆様の理解が得られないという全委員の共通した認識でした。

### 【議員定数に関する考察】

当市の議員定数は19人で、全国と同規模の市の平均17.9人と比べると1.1人多い状況です。

また、近隣市との比較においても、人口が98,198人の佐久市は議員定数が26人で、市民3,777人に対し議員が1人です。一方人口29,549人の東御市は議員定数が17人で、市民1,738人に対し議員が1人という状況で、自治体の規模や立地環境等により議員定数の違いが見られるが、類似団体の平均的定数に削減することが望ましいとの考え方で意見が一致しました。

### 【議員報酬に関する考察】

議員報酬の安易な増額は、市民の皆様の理解を得られないとの意見もありましたが、かつての名誉職的色彩が強かった頃の議員に対する報酬とは異なり、現状においては生活給的要素となっている実態を踏まえ、なり手不足の解消や若い方が立候補できる程度の報酬とすること等が議論されました。

当市の議員報酬の引き上げについては、平成10年10月1日に現在の333,000円に引き上げが行われてから26年間見直しが行われていない状況であり、さらに、平成23年6月1日に議員年金の廃止に伴い議員個人で国民年金等に加入することとなったが議員報酬の見直しはされていない状況です。

こうしたことから、類似団体の報酬の平均である349,253円以上に引き上げるため、20,000円を引き上げることが将来を担う多様な議員構成の議会として必要であるとの考え方で委員会としての意思統一が図られました。

付带的意見として厳しい財政状況が予測される中では、議員報酬の増額により議会費の増額とならないよう努めることが市民の皆様から信頼される議会とするための筋道であると考えます。

現状の議会体制等に甘んずることなく、議員各自が不断の努力により資質の向上に努めるとともに、小諸市議会基本条例に基づき地域民主主義の確立のための議会改革、議会活性化の歩みを進めることによって、市民の皆様から信頼される議会、魅力ある議会を目指すことを委員会としての一致した意見であると申し上げ、中間報告とするものです。

## 10. 中間報告後の委員会等の開催状況（7 ページから続く）

回次	開催年月日	審議内容
研修	令和 6 年 8 月 8 日(木)	・ 日本大学法学部公共政策学科林 紀行教授との議員定数・報酬の検討に伴う研修と意見交換
作業	令和 6 年 8 月 26 日(月)	・ 小諸市議会に関する市民意識調査（アンケート）の発送準備
15	令和 6 年 10 月 1 日(火)	・ 小諸市議会に関する市民意識調査（アンケート）の集計作業 ・ 議員定数・報酬を検討する市民との意見交換会について
意見 交換 会	令和 6 年 10 月 6 日(日) 令和 6 年 10 月 8 日(火)	・ 議員定数・報酬を検討する市民との意見交換会
パブ コメ	令和 6 年 10 月 7 日(月) ～ 令和 6 年 10 月 25 日(金)	・ 議員定数・報酬についてのパブリックコメント
16	令和 6 年 11 月 18 日(月)	・ パブリックコメントに対する考察
17	令和 6 年 12 月 3 日(火)	・ 意見交換会での意見に対する考察
18	令和 6 年 12 月 18 日(水)	・ 意見交換会での意見に対する考察及び最終報告について
19	令和 7 年 1 月 7 日(火)	・ 最終報告書作成協議
20	令和 7 年 1 月 15 日(水)	・ 最終報告書作成協議
21	令和 7 年 1 月 21 日(火)	・ 最終報告書作成協議及び次期委員会への申し送りについて

## 11. 中間報告に対する市民の皆様からの意見聴取

議員定数及び報酬等検討委員会としての中間報告を市民の皆様にご覧いただき、報告内容等に対する意見を次の3つの方法で聴取しました。

### （1）小諸市議会に関する市民意識調査（アンケート）の結果について

市内にお住いの18才以上の中から、1,500人を無作為で抽出し令和6年9月26日までに回答をお願いしました。

回答者数は498人で回答率は33.2%でありました。回答内容の主なものについては次のとおりです。なお、詳細については資料NO4を参照願います。

- ① 性別については、女性49% 男性48% 回答なし及び未記入3%
- ② 年代別については、多い順に70代25%。60代22%、50代17%

80代以上14%、40代10%、30代6%、20代4%、10代・未記入が各1%でした。

③議会や議員の役割についてわかりますか。については、よくわかる12%  
ややわかる34%、あまりわからない28%、どちらともいえない18%  
全くわからない7%、未記入1%でした。

④現在の議員定数19人をどう思いますか。については、適当が37%  
多い37%、分からない22%、少ない2%。未記入2%でした。

⑤議員報酬33万3千円(月額)をどう思いますか。については、適当39%  
少ない20%、分からない20%、多い19%、未記入2%でした。

## (2) 小諸市議会議員定数・報酬を検討する意見交換会の結果について

議員定数・報酬を検討する意見交換会の開催について各戸への回覧と小諸市ホームページ等でお知らせし、令和6年10月6日(日)と10月8日(火)の両日に小諸市市民交流センターで午後6時30分から午後8時まで開催しました。

参加者は、10月6日(日)が13名、10月8日(火)が12名でありました。パワーポイントで定数・報酬についての概要を説明してから参加者の意見をお聞きしました。主な意見は次のとおりであり、詳細については、資料 NO 5を参照願います。

① 1人減での影響は検討されたのか。

回答：1人減となると常任委員会の数についても検討します。

②議員定数は15人でもよいのではないか。

回答：諏訪市へ視察に行き状況を聞いたが15人は減らし過ぎたとの感想であり、近隣の岡谷市・茅野市は定数が18人です。

③人口減少を見据え、定数を1人以上減らすという意見はなかったか。

回答：定数においては、現状のまま、減らした方が良い、増やすべきとの意見があり、財政、面積、学校数等も含めて検討した結果、1人削減で意見がまとまりました。

④議会の役割を全うしていくには議員は最低何人必要かの検討はしているか。

回答：類似団体市との議員定数比較のほか、財政、面積、学校数等も含めて検討しました。

⑤ 町村は報酬20万円であり手はいる。町村との比較でも良いのではないか。

回答：類似団体の市で比較しました。町村とは財政規模・人口等が異なるので比較は難しいと思われまます。

⑥ 兼業は行ってよいのか。

回答：兼業は認められています。ただし、市と継続的な取引がある個人事業者については、年間300万円までと規定されています。

### (3) 小諸市議会議員定数・報酬に対するパブリックコメントの結果について

パブリックコメントについては、令和6年10月7日から10月25日までの間にご意見をいただきました。主な意見等につきましては次のとおりです。

なお、詳細については、資料 NO 6を参照願います。

① 議員報酬を月額報酬と年額報酬で実態が分かる表示が必要です。

検討結果：最終報告書の資料として追加します。

② 月額2万円の増額は良いが、財政優先で1人削減し帳尻を合わせている。安易な定数削減は議会の弱体化の恐れと言いながら削減はおかしい。

検討結果：矛盾する点もありますが、財政面も考慮しての中間報告です。

③ 平均値との比較だけで解を導くのは難しい。責務を果たし、成果を出していれば財政の許す範囲で増額してよい。

検討結果：平均値を参考としましたが、財政、面積、学校数等も含めて比較した結果です。

④ なり手不足の要因のトップは報酬との新聞記事を起点に議論を進めている。

検討結果：報酬もなり手不足の要因の一つと考えていますので、意見交換会では、当該記事を参考として説明したものです。

⑤ 定数・報酬の意見交換会があることを回覧板で案内されたようですが、議会だより・広報こもろへの掲載がなかった理由はありますか。

検討結果：議会だよりは議会毎の発刊であり、広報こもろでの周知より回覧板での周知が有効であるとの考えです。

## 12. 識者（専門家）による助言

令和6年10月から12月までの間に、日本大学法学部公共政策学科の林 紀行教授より助言を頂きました。

### 【アンケートの総評】

- ① 議会が取り組むべきことの中で、議員定数や議員報酬の見直しの優先順位は低いので、いつまでもこの問題を検討するのではなく、早急に回答を示すべきである。
- ② 議会が取り組む優先課題は、市民の声を聞き、行政の仕事に市民の声を反映させることであり、議員定数や議員報酬の見直しは議会改革でないことに留意する必要がある。
- ③ 議会や議員の役割がわからない市民を減らすためには、「議会と議員の見える化」が必要である。
- ④ 議会には、市全体と地域のことをバランスよく考えて、行動することが求められる。
- ⑤ 議員のなり手不足問題は深刻。議員報酬に頼らない、なり手確保の方策を検討すべきである。

### 【他市議会の議員定数・報酬等に対する総評】

- ① 議員定数を考える前に、議会は住民福祉の向上のためにあること、そして、目指す議会像をもう1度再確認すべきである。
- ② 議会の重要な機能は、委員会での採決と政策立案である。何人であれば合理性があり、住民の意見が反映された採択結果や政策立案となるかを考える必要がある。また、これらをきちんと市民に説明ができることが大事である。
- ③ 議会の特徴は多様性である。その多様性のある議員が、さらに各種団体の意見を吸い上げてくるのが議会の強みである。
- ④ まず議会活動を改善し、改善した結果を市民と共有し、そのうえで議員定数を何人にすべきかという議論が合理的ではないか。
- ⑤ 小諸市議会が目指すべき理想のモデル像をつくり、議員報酬、議会の権限、議会改革、委員会の活動等を総合判断したうえで、議員定数を導き出すべきである。

## 13. 最終報告・まとめ

市議会は、執行機関と対等な関係で相互に緊張関係を保持しながら協力して自治体運営に当たる責任がある。このたびの市民の皆様の意識調査（アンケート）、議員定数・報酬に関する意見交換会及びパブリックコメントにより、多くのまた、多様な意見をいただきました。その意見を議会に反映させ、政策立案や監視機能を効果的に発揮するとともに、議会活動を市民の皆様を知っていただくことが重要であると再認識しました。

### 【議員定数】

当委員会では、最終報告として小諸市の将来を見据えた適正な議員定数は18人（現行から1人削減）としましたが、議員定数の削減によって、議会力の低下を招くことがないよう各議員が資質、能力の向上に努めていかなければならないと考えています。

### 【議員報酬】

小諸市の人口減少や財政状況を見据えた中で、適正な議員報酬は月額35万3千円（現行から2万円増額）とし、議長・副議長は同率増額で議長45万3千円（現行から2万6千円増額）、副議長は37万6千円（現行から2万2千円増額）とする最終報告としました。

当市の報酬は、平成10年に報酬額の改正をして以来26年間据え置いたまま現在に至っています。この間社会状況の変化により議員活動に求められる知識能力は高度化、複雑化するとともに議員活動に要する時間も増加しており、報酬もこのような状況の変化に見合った額としていかなければ、求められている議員活動は難しくなります。また、議員年金の廃止に伴い60才以下の議員は国民年金保険料を個人的に支払う負担も生じています。さらに報酬が生活給化している現状においては若年層が議員に立候補するには現状の議員報酬は魅力に欠けます。

小諸市の財政状況を考えると議員報酬の増額は市民の皆様の負担となりますが、この改正を機に市民の皆様が求める議会、議員活動を着実に遂行していくとともに、若年層の皆さんが立候補できる環境を整備し、多様な人材が参画する議会とすることに取り組む決意をしたところです。

### 【まとめ】

今後も引き続き、議員一人ひとりが資質の向上に努めるとともに、住民福祉向上

のため、小諸市議会が一体となって、議会改革をより一層推進することにより、市民の皆様からの負託に応えられ、より信頼される議会を目指していくことを表明し、当委員会の調査検討のまとめとします。

## 類似団体との比較一覧表 (人口39,000人～44,000人)

※ 数値は令和4年12月31日時点

通し 番号	都道府県名	市名	類似 団体 区分 1-1	人口 (人)	現在の 議員定 数	議員一人 当たりの 人口	面積 (ha)	議員一人 当たりの 面積	常任 委員 会数	議員報酬 (円/月)	市長報酬	議員報酬 /市長報酬	標準財政規模 (百万円)	議会費 (百万円)	議員一人 当たりの 議会費 (百万円)	議会事 務局職 員数	標準財政 規模/ 議会費	人口密度	歳出決算合計 (百万円)	議会費/歳 出決算合計 構成比	議員一人 当たりの 歳出決算 (百万円)	自主財源 合計 (百万円)	議員一人 当たりの 自主財源 (百万円)	政務 活動費 (月額)	月額報酬 + 政務活動費 (円/月)
1	千葉県	富津市		41,773	16	2,611	205.40	12.8	2	450,000	900,000	50.0%	12,231	188	11.75	4	1.5%	207	20,566	0.9%	1,285	11,554	722	30,000	480,000
2	神奈川県	三浦市	1-1	40,841	13	3,142	32.05	2.5	2	442,000	890,000	49.7%	10,661	173	13.31	5	1.6%	1313	19,119	0.9%	1,471	7,553	581	0	442,000
3	富山県	魚津市		39,919	17	2,348	200.61	11.8	3	400,000	820,000	48.8%	16,353	165	9.71	5	1.0%	202	19,182	0.9%	1,128	10,041	591	30,000	430,000
4	愛知県	弥富市		43,847	16	2,740	49.11	3.1	2	398,000	651,700	61.1%	11,197	176	11.00	4	1.6%	876	17,768	1.0%	1,111	9,683	605	0	398,000
5	茨城県	北茨城市		41,448	19	2,181	186.79	9.8	3	391,000	870,000	44.9%	11,034	197	10.37	5	1.8%	224	22,701	0.9%	1,195	8,942	471	10,000	401,000
6	兵庫県	洲本市	1-1	41,825	18	2,324	182.38	10.1	3	390,000	920,000	42.4%	13,253	190	10.56	4	1.4%	226	38,883	0.5%	2,160	21,638	1,202	12,500	402,500
7	愛知県	新城市		43,813	18	2,434	499.23	27.7	2	372,000	833,000	44.7%	15,446	193	10.72	5	1.2%	89	25,166	0.8%	1,398	9,980	554	12,500	384,500
8	茨城県	下妻市		42,419	20	2,121	80.88	4.0	3	370,000	740,000	50.0%	11,189	196	9.80	5	1.8%	526	21,371	0.9%	1,069	8,482	424	10,000	380,000
9	富山県	黒部市		40,072	17	2,357	426.31	25.1	3	370,000	920,000	40.2%	13,560	187	11.00	5	1.4%	93	25,274	0.7%	1,487	10,270	604	30,000	400,000
10	山形県	寒河江市		40,086	16	2,505	139.03	8.7	2	360,000	644,000	55.9%	10,802	168	10.50	5	1.6%	289	26,393	0.6%	1,650	14,089	881	12,500	372,500
11	長崎県	島原市	1-1	43,169	19	2,272	82.96	4.4	3	359,000	877,000	40.9%	11,936	205	10.79	6	1.7%	522	25,232	0.8%	1,328	7,116	375	0	359,000
12	福岡県	中間市		39,906	16	2,494	15.96	1.0	3	355,000	888,000	40.0%	10,050	154	9.63	5	1.5%	2529	21,090	0.7%	1,318	6,933	433	0	355,000
13	秋田県	湯沢市	1-1	41,479	18	2,304	790.91	43.9	3	351,000	803,000	43.7%	16,144	175	9.72	6	1.1%	53	30,905	0.6%	1,717	9,005	500	10,000	361,000
14	岡山県	真庭市	1-1	42,577	24	1,774	828.53	34.5	3	350,000	880,000	39.8%	20,297	230	9.58	5	1.1%	52	34,576	0.7%	1,441	8,716	363	30,000	380,000
15	長崎県	雲仙市	1-1	41,815	19	2,201	214.31	11.3	3	350,000	875,000	40.0%	16,666	191	10.05	5	1.1%	192	35,274	0.5%	1,857	8,628	454	15,000	365,000
16	兵庫県	丹波篠山市	1-1	39,923	18	2,218	377.59	21.0	3	350,000	585,900	59.7%	14,478	169	9.39	5	1.2%	105	23,460	0.7%	1,303	6,964	387	20,000	370,000
17	岡山県	赤磐市	1-1	43,392	18	2,411	209.36	11.6	3	350,000	890,000	39.3%	13,104	176	9.78	5	1.3%	204	21,601	0.8%	1,200	6,738	374	30,000	380,000
18	兵庫県	加東市		39,719	16	2,482	157.55	9.8	2	350,000	940,000	37.2%	12,644	164	10.25	4	1.3%	258	29,796	0.6%	1,862	9,114	570	0	350,000
19	兵庫県	加西市		42,256	15	2,817	150.98	10.1	2	350,000	893,000	39.2%	12,455	154	10.27	4	1.2%	283	27,860	0.6%	1,857	15,509	1,034	8,333	358,333
20	長崎県	南島原市	1-1	42,554	19	2,240	170.13	9.0	3	348,000	870,000	40.0%	17,747	178	9.37	5	1.0%	249	35,988	0.5%	1,894	9,674	509	11,250	359,250
21	兵庫県	淡路市	1-1	42,437	18	2,358	184.24	10.2	2	346,500	860,000	40.3%	17,464	169	9.39	3	1.0%	228	33,024	0.5%	1,835	11,492	638	12,500	359,000
22	茨城県	桜川市	1-1	39,040	16	2,440	180.06	11.3	3	345,000	834,000	41.4%	12,207	152	9.50	5	1.2%	217	20,851	0.7%	1,303	7,806	488	0	345,000
23	愛媛県	大洲市	1-1	40,580	21	1,932	432.12	20.6	3	344,000	871,000	39.5%	15,709	185	8.81	6	1.2%	94	31,584	0.6%	1,504	9,424	449	0	344,000
24	神奈川県	南足柄市		41,058	16	2,566	77.12	4.8	2	338,000	855,000	39.5%	9,659	262	16.38	5	2.7%	530	19,838	1.3%	1,240	12,533	783	10,000	348,000
25	長野県	小諸市	1-1	41,611	19	2,190	98.55	5.2	3	333,000	893,000	37.3%	10,801	178	9.37	5	1.6%	416	21,059	0.8%	1,108	7,516	396	12,000	345,000
26	鹿児島県	奄美市		41,665	22	1,894	308.33	14.0	3	321,000	820,000	39.1%	17,843	196	8.91	6	1.1%	134	40,957	0.5%	1,862	10,614	482	22,500	343,500
27	山口県	萩市	1-1	43,685	20	2,184	698.31	34.9	3	320,000	820,000	39.0%	18,022	185	9.25	5	1.0%	64	32,042	0.6%	1,602	8,162	408	10,000	330,000
28	宮崎県	小林市	1-1	43,554	19	2,292	562.95	29.6	3	313,000	788,000	39.7%	14,767	173	9.11	7	1.2%	78	31,406	0.6%	1,653	9,597	505	15,000	328,000
29	岐阜県	郡上市		39,118	18	2,173	1030.75	57.3	3	310,000	746,100	41.5%	18,438	168	9.33	5	0.9%	38	28,945	0.6%	1,608	8,273	460	10,000	320,000
30	新潟県	糸魚川市		39,767	18	2,209	746.24	41.5	3	300,000	820,000	36.6%	16,353	166	9.22	5	1.0%	55	27,825	0.6%	1,546	10,708	595	15,300	315,300
31	長野県	中野市		43,030	20	2,152	112.18	5.6	3	296,300	563,300	52.6%	13,095	168	8.40	5	1.3%	377	23,843	0.7%	1,192	10,529	526	8,000	304,300
32	新潟県	見附市		39,045	17	2,297	77.91	4.6	3	294,000	803,700	36.6%	10,318	133	7.82	4	1.3%	504	17,967	0.7%	1,057	7,012	412	10,000	304,000
33	新潟県	阿賀野市	1-1	40,350	16	2,522	192.74	12.0	3	287,800	829,000	34.7%	13,399	140	8.75	5	1.0%	211	23,280	0.6%	1,455	6,852	428	15,000	302,800
34	静岡県	牧之原市		43,497	16	2,719	111.69	7.0	2	270,000	810,000	33.3%	13,323	141	8.81	5	1.1%	389	22,224	0.6%	1,389	9,546	597	0	270,000
35	茨城県	かすみがうら市	1-1	40,628	16	2,539	156.60	9.8	3	269,000	779,000	34.5%	11,636	138	8.63	5	1.2%	256	21,451	0.6%	1,341	7,467	467	12,500	281,500
		最大値		43,847	24.0	3,142	1,031	57.3	3.0	450,000	940,000	61.1%	20,297	262	16	7.0	2.7%	2,529	40,957	1.3%	2,160	21,638	1,202	30,000	480,000
		平均値		41,508	17.9	2,350	289	15.6	2.7	349,253	823,638	42.9%	13,901	178	10	4.9	1.3%	348	26,384	0.7%	1,473	9,726	553	12,129	361,382
		最小値		39,040	13.0	1,774	16	1.0	2.0	270,000	563,300	33.3%	9,659	133	8	3.0	0.9%	38	17,768	0.5%	1,057	6,738	363	0	270,000

県下19市との比較一覧表

資料NO2

※ 数値は令和4年12月31日時点

通し番号	都道府県名	市名	類似団体区分1-1	人口	現在の議員定数	議員一人当たりの人口	面積	議員一人当たりの面積	常任委員会数	議員報酬月額	市長報酬	市長報酬：議員報酬	標準財政規模(百万円)	議会費(百万円)	議員一人当たりの議会費(百万円)	議会事務局職員数	標準財政規模：議会費	議会費/歳出決算合計構成比	議員一人当たりの歳出決算(百万円)	自主財源合計(百万円)	議員一人当たりの自主財源(百万円)	政務活動費(月額)	月額報酬+政務活動費(円/月)
1	長野県	長野市		368,717	38	9,703	834.81	22.0	4	606,000	1,097,000	55.2%	92,384	701	18.45	16	0.8%	0.4%	4,476	77,021	2,027	85,000	691,000
2	長野県	松本市		236,447	28	8,445	978.47	34.9	4	497,000	1,027,000	48.4%	61,398	437	15.61	11	0.7%	0.4%	3,956	51,402	1,836	20,833	517,833
3	長野県	上田市		153,507	30	5,117	552.04	18.4	4	443,000	996,000	44.5%	41,150	358	11.93	8	0.9%	0.5%	2,574	33,071	1,102	20,000	463,000
4	長野県	岡谷市		47,691	18	2,650	85.10	4.7	3	353,000	814,500	43.3%	12,679	186	10.33	5	1.5%	0.8%	1,274	9,472	526	9,000	362,000
5	長野県	飯田市		97,270	23	4,229	658.66	28.6	3	407,000	925,000	44.0%	28,388	258	11.22	6	0.9%	0.5%	2,296	20,429	888	11,667	418,667
6	長野県	諏訪市		48,378	15	3,225	109.17	7.3	2	349,000	901,000	38.7%	12,830	149	9.93	5	1.2%	0.7%	1,512	11,403	760	10,000	359,000
7	長野県	須坂市		49,776	19	2,620	149.67	7.9	3	358,700	861,900	41.6%	12,963	203	10.68	6	1.6%	0.7%	1,602	13,542	713	15,000	373,700
8	長野県	伊那市		66,016	21	3,144	667.93	31.8	3	368,000	928,000	39.7%	21,844	203	9.67	4	0.9%	0.5%	2,100	18,636	887	10,000	378,000
9	長野県	駒ヶ根市		31,894	15	2,126	165.86	11.1	2	313,000	830,000	37.7%	9,717	129	8.60	4	1.3%	0.8%	1,114	6,785	452	9,000	322,000
10	長野県	中野市		43,030	20	2,152	112.18	5.6	3	296,300	563,300	52.6%	13,095	168	8.40	5	1.3%	0.7%	1,192	10,522	526	8,000	304,300
11	長野県	大町市	1-1	26,084	16	1,630	565.15	35.3	2	296,000	801,000	37.0%	10,709	145	9.06	5	1.4%	0.8%	1,122	7,118	445	3,333	299,333
12	長野県	飯山市	1-1	19,704	16	1,232	202.43	12.7	2	264,000	714,000	37.0%	8,606	116	7.25	6	1.3%	0.7%	1,036	6,630	414	10,000	274,000
13	長野県	茅野市		54,635	18	3,035	266.59	14.8	3	332,000	907,000	36.6%	17,871	180	10.00	4	1.0%	0.6%	1,575	11,964	665	10,000	342,000
14	長野県	塩尻市		66,103	18	3,672	289.98	16.1	2	402,000	914,000	44.0%	18,219	190	10.56	5	1.0%	0.6%	1,882	15,973	887	7,500	409,500
15	長野県	佐久市		98,198	26	3,777	423.51	16.3	3	349,000	969,000	36.0%	28,776	259	9.96	5	0.9%	0.4%	2,253	26,003	1,000	12,500	361,500
16	長野県	千曲市		59,522	20	2,976	119.79	6.0	3	345,000	860,000	40.1%	16,912	209	10.45	6	1.2%	0.7%	1,495	10,870	544	15,000	360,000
17	長野県	東御市	1-1	29,549	17	1,738	112.37	6.6	2	304,000	838,000	36.3%	9,465	136	8.00	4	1.4%	0.8%	1,054	6,626	390	10,000	314,000
18	長野県	安曇野市		96,605	21	4,600	331.78	15.8	3	360,000	928,000	38.8%	27,745	228	10.86	6	0.8%	0.5%	2,325	18,962	903	10,000	370,000
19	長野県	小諸市	1-1	41,611	19	2,190	98.55	5.2	3	333,000	893,000	37.3%	10,801	178	9.37	5	1.6%	0.8%	1,108	7,510	395	12,000	345,000
		最大値		368,717	38.0	9,703	978	35.3	4.0	606,000	1,097,000	55.2%	92,384	701	18.4	16.0	1.6%	0.8%	4,476	77,021	2,027	85,000	691,000
		平均値		86,039	20.9	3,593	354	16	2.8	367,158	882,511	41.5%	23,976	233	10.5	6.1	1.1%	0.6%	1,892	19,155	808	15,202	382,360
		最小値		19,704	15.0	1,232	85	5	2.0	264,000	563,300	36.0%	8,606	116	7.3	4.0	0.7%	0.4%	1,036	6,626	390	3,333	274,000

(全国市議会議長会)

報酬、定数に関する調査結果から

※「市長報酬」、「標準財政規模」、「議会費」は、令和3年度総務省「決算カード」から抽出。

※事務局職員数 全国市議会議長会作成 全国市議会事務局一覧から確認

※小中学校の数 東洋経済新報社 データパック2023から確認

※常任委員会数・政務活動費は各市HPを確認

## 議員定数・議員報酬の変更に伴う議会費の比較表

現在の議会費（議員定数19人、（報酬333千円/月＋期末手当）＋経費）  
と改定後の議会費（議員定数18人、（報酬353千円/月＋期末手当）＋経費）の比較

議会費 議員報酬＋経費		現在 正副議長2人＋議員17人					改訂後（定数△1人、報酬＋2.0万円/人） （正副議長報酬は比例計算で増額） 正副議長2人＋議員16人				
	項目	単価 （千円/月）	月数	年額 （千円/年）	人数 （人）	合計 （千円）	単価 （千円/月）	月数	年額 （千円/年）	人数 （人）	合計 （千円）
報酬	議長報酬	427.0	12.00	5,124	1	5,124	453.0	12.00	5,436	1	5,436
	議長期末手当2回分	427.0	4.55	1,943	1	1,943	453.0	4.55	2,061	1	2,061
	副議長報酬	354.0	12.00	4,248	1	4,248	376.0	12.00	4,512	1	4,512
	副議長期末手当2回分	354.0	4.55	1,611	1	1,611	376.0	4.55	1,711	1	1,711
	議員報酬	333.0	12.00	3,996	17	67,932	353.0	12.00	4,236	16	67,776
	議員期末手当2回分	333.0	4.55	1,515	17	25,758	353.0	4.55	1,606	16	25,698
報酬計						<b>106,615</b>	<b>107,194</b>				
経費	政務活動費 月額×12	12.00	12.00	144.00	19	2,736	12.00	12.00	144.00	18	2,592
	特別旅費 年額			75.00	19	1,425			75.00	18	1,350
	通勤費等 年額			24.50	19	466			24.50	18	441
	防寒着等支給 年額			5.00	19	95			5.00	18	90
	貸与タブレット 年額			11.00	19	209			11.00	18	198
経費計						<b>4,931</b>	<b>4,671</b>				
議会費総計						<b>111,546</b>	<b>111,865</b>				

資料 NO4

小諸市議会に関する市民意識調査  
アンケートの結果について

令和6年8月28日（水）郵送～

令和6年9月26日（木）回答期限

令和6年10月8日（火）受付分まで実施

小諸市議会

あなたの声をお聞かせください！  
小諸市議会に関する市民意識調査

このアンケートは、令和6年8月15日現在小諸市にお住まいの18歳以上の方の中から、1,500人の方を無作為に選ばせていただき、回答をお願いするものです。ご回答いただきました内容は今後の議会運営と次期議会の定数・報酬を検討する上で参考とさせていただきます。

また、アンケートは無記名形式で行っていただき、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理されますので、ご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用の折、大変恐縮ではありますが、調査にご協力をお願いいたします。

小諸市議会議長 丸山 正昭

【ご記入にあたって】

1. このアンケートは令和6年9月26日（木）までにご記入の上、お手数ですが同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手不要）
2. 回答は調査票に直接記載してください。
3. 質問のあとに「(○は1つ)」または、「(○は3つまで)」とあるときは、あてはまる回答項目を選び、番号をはっきりと○で囲んでください。
4. 設問「3. 小諸市議会議員の定数・報酬についてあなたの考えをお聞かせください。」は同封の **別紙** 中間報告概要 をご覧いただき、ご回答をお願いいたします。
5. 調査票は宛名のご本人がお答えください。  
(お名前を記入する必要はございません)
6. Webでご回答いただく場合は、郵送によるご回答は不要です。  
その場合は、以下の二次元コードから回答フォームにアクセスして、ご回答ください。



【お問い合わせ先】

小諸市役所 議会事務局

電話：0267(22)1700

(内線2403)

1. あなたについて教えてください。

問1 あなたの性別 (○は1つ)

1. 女      2. 男      3. その他      4. 回答しない

問2 あなたの年代 (○は1つ)

1. 10代                      2. 20代                      3. 30代  
4. 40代                      5. 50代                      6. 60代  
7. 70代                      8. 80代以上                9. その他

問3 あなたの居住地 (地区名) (○は1つ)

1. 中央地区 (小諸東中学校区)      2. 中央地区 (芦原中学校区)  
3. 北大井地区      4. 南大井地区      5. 三岡地区  
6. 川辺地区      7. 大里地区      8. 西小諸地区  
9. その他 (区名                      )

※わからない場合は9.その他に○をしてください

問4 あなたの職業 (○は1つ)

1. 会社役員・団体役員      2. 会社員・団体職員・公務員  
3. 自由業・自営業      4. 農林業  
5. パート・アルバイト      6. 学生・生徒・専門学校生  
7. 無職      8. 主夫・主婦      9. その他

2. 小諸市議会と議員についてあなたの考えをお聞かせください。

問1 あなたは議会や議員の役割がわかりますか。(○は1つ)

1. よくわかる      2. ややわかる      3. どちらともいえない  
4. あまりわからない      5. 全くわからない

※問1で1. 2. 3. を回答した場合は、問2を回答せず、問3に進んでください。

問2 「4. あまりわからない」と「5. 全くわからない」を回答された場合、その理由は何ですか。(○は1つ)

1. 身近に議員がないから      2. 関心が低いから      3. 情報が不足しているから  
4. 役割が難しいから      5. 活動が見えにくいから      6. 報道がないから  
7. その他 (                      )

問3 あなたが議員に求めるものは何ですか。(○は3つまで)

1. 政策に関する専門知識      2. リーダーシップ      3. コミュニケーション能力  
4. 親しみやすさ      5. 行動力      6. 地域のことを考えた活動  
7. 市全体のことを考えた活動      8. 情報発信力      9. その他 (                      )

問4 あなたは、議会が取り組むべきことは何だと思えますか。(○は3つまで)

1. 市の予算や条例などを決めること
2. 議案の審査をすること
3. 地域に出向き、市民の意見を聞くこと
4. 議会の改革に取り組むこと
5. 行政の仕事に市民の意見を反映させること
6. 議員定数や報酬を見直すこと
7. その他 ( )

3. 小諸市議会議員の定数と報酬についてあなたの考えをお聞かせください。

※ 別紙中間報告概要にあるメリット・デメリットをお読みの上、ご回答ください。

問1 あなたは、現在の議員定数19人をどう思えますか。(○は1つ)  
(H19年24人→21人、H27年21人→19人に定数削減をしています)

1. 多い
2. 適当
3. 少ない
4. わからない

その理由は何ですか。(○は3つ)

1. 他の議会との比較
2. 議員のなり手問題
3. 市民の意見を反映できる人数
4. 意見の偏り
5. 活動の透明性
6. 市長がいれば議会は不要
7. 少ないと一人の力が大きくなる
8. 監査委員がいれば不要
9. 特に理由はない
10. その他 ( )

問2 あなたは、現在の議員報酬33万3千円/月をどう思えますか。(○は1つ)  
(ここから所得税 約 11,000円/月、住民税 約 22,000円/月、国民健康保険 約 38,000円/月、国民年金 約 17,000円/月等の支払いを行い、手当はありますが、議員年金・退職金はありません。  
※モデルケース 50代 扶養なしとして計算)

1. 多い
2. 適当
3. 少ない
4. わからない

その理由は何ですか。(○は3つ)

1. 他の議会との比較
2. 議員のなり手問題
3. 議会活動の内容
4. 議会活動の量
5. 民間企業の給与との比較
6. 議決機関としての役割
7. 市の財政力
8. 議員一人当たりの人口
9. 自分の給与との比較
10. 4年の任期
11. 議員年金がないこと
12. 活動日数
13. 特に理由はない
14. わからない
15. その他 ( )

4 .あなたは、議員定数や報酬が何であれば立候補を検討しますか。

1. 議員定数が\_\_\_\_\_人 であれば、立候補を検討してもよい
2. 議員報酬が\_\_\_\_\_円/月 であれば、立候補を検討してもよい
3. 議員定数・報酬に関係なく、立候補するつもりはない
4. 議員定数・報酬に関係なく、立候補したい
5. 分からない

議員のなり手問題についてご意見をお書きください。(自由記述)

[ ]

5 .議会に対するご意見等がございましたら ご自由にお書きください。

[ ]

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

## 「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」中間報告（概要）

### 【検討結果】

市議会では令和5年12月より「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」において、令和7年12月までに議員定数と議員報酬について結論を出すことを目標に調査、検討をしてまいりました。

委員会では、令和6年8月の時点までに会議等を17回開催し、人口の推移や市税の推移、類似市との比較等、調査・分析を重ねた結果、『**定数においては、1名減の18名が適当である**』、『**報酬においては、類似団体の平均を上回る2万円の増額が適当である**』とした中間報告を作成しました。

今後、最終報告書作成までに①市民アンケート、②市民説明会、③パブリックコメントを実施し市民の皆様のご意見を参考に最終報告書を作成する予定です。

\* 詳細な中間報告書は、小諸市ホームページをご覧ください。



中間報告全文

### 【調査・検討】

委員会では比較検討のため 全国から人口が小諸市の4万1千人に近い、3万9千人～4万4千人の、小諸市を含む36市を抽出し、比較検討することとしました。

小諸市の財政規模については中位であり、産業構造についても似通った構成の市が多数を占めることが分かりました。

### 【議員定数】

36市の議員定数の平均は17.9人であり、小諸市の定数19人より1.1人少ない状況でした。小諸市の議員定数を必要以上に減らすことは、二元代表制の議会として民意を反映する力が低下すると判断し、1名減員することが適当であると判断しました。

### 【議員報酬】

36市の議員報酬の平均月額額は34万9,253円であり、小諸市より1万6,253円多いという状況でした。

小諸市の議員報酬は平均より少ない状況であるので、子育て世代も立候補できる報酬金額にするため、2万円の増額が適当であると判断しました。

人口減少・高齢化の進展する状況下で増額することは市民の皆様のご理解を得られるのかとの意見もありましたが、議員のなり手不足の解消や議会活性化のため増額との判断をしました。

### 【まとめ】

議員定数及び議員報酬については、各自治体の財政状況や地域性等が反映されており、数値の比較だけでは適正な数値を導くことはできないことも確認しましたが、今後、市民の皆様から信頼される議会とするため必要であると確認したところです。

\* 裏面の関係資料をご覧ください。

## 1. 小諸市・議会等の変遷

小諸市は、昭和29年4月1日に小諸町と三岡村、南大井村が合併して市制を発足し、昭和32年4月1日に北佐久郡御代田町の一部を編入、昭和34年4月1日に小県郡東部町の一部を編入して現在の小諸市の姿になっています。

本市の議員定数は、地方自治法第91条に基づき「小諸市議会議員の定数に関する条例」によって小諸市制発足当時の30名から議員定数の削減を行い、現在は19名と定めています。

市政発足から現在までの間、地方分権改革や地域主権改革が推進され、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中、全国の各議会では議会改革や議会活性化に取り組むとともに、議員定数、議員報酬等を議論する動きも活発化しています。

そのような状況の中、平成23年に地方自治法の一部が改正されたことにより、これまで人口区分に応じて定められていた議員定数の上限が撤廃され、各自治体が条例で定める仕組みへと変わり、議員定数は地方議会が自らの裁量と判断によって決定することとなっています。

また、平成21年3月30日に総務省に「地方議会議員年金制度検討会」が設置されて検討がおこなわれ、平成23年6月1日に地方議会議員年金制度が廃止となり、60才以下の地方議会議員は国民年金等に個人的に加入する状況となっています。

本市議会では、分権時代にふさわしい議会を目指すため、議会改革・議会の活性化を進める中で、現行の議会制度等をあらゆる角度から検証することも含め、平成28年12月議会において、議会運営及び議員活動に関する最高規範として「小諸市議会基本条例」を制定しています。

一方、平成31年1月に実施された市議会議員選挙では、市制発足以来初めて議員定数19名と同数であったため無投票という結果でした。そのことを踏まえ「議会と語る会」のテーマを「市議選の無投票を市民と考える」として多くの市民の皆様と意見交換を行う中で「議員定数」や「議員報酬」について様々な意見交換が行われました。こうした活動もあり、令和5年1月の選挙では女性や幅広い年代の立候補者が相次ぎ議員定数より立候補者が上回りました。

議会では、小諸市議会基本条例第25条の規定により議会運営が行われているか検証し、その結果に基づいて「必要があるときは見直しを行うものとする」規定により次期選挙の1年前（令和7年12月）までに議員定数及び議員報酬等について調査検討する目的のため「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」において調査検討を進めてきました。

## 2. 委員会への付託事件

下記条例に定められている議員定数及び議員報酬等に関する調査検討を行います。

○小諸市議会議員の定数に関する条例

平成25年12月20日

条例第40号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第91条第1項の規定により、小諸市議会議員の定数を19人とする。

○小諸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

平成10年10月1日

条例第29号

(議員報酬)

第1条 議会の議長、副議長及び議員の議員報酬は次のとおりとする。

議長 月額 418,000円 ⇒ 月額 427,000円 に変更

副議長 月額 347,000円 ⇒ 月額 354,000円 に変更

議員 月額 326,000円 ⇒ 月額 333,000円 に変更

## 3. 委員構成と進め方

委員構成は8人とし、付託事件である議員定数、議員報酬等に関する調査検討を進めるに当たり、委員会運営の基本的な考え方や進め方として、①日程表の作成、②基礎資料等の調査・収集、③調査資料等の比較・分析、④各委員の意見発表(協議・検討)、⑤意見集約、⑥委員会としての中間報告書の作成・報告を全議員に示すとともに、令和7年2月までに最終報告を取りまとめることとしました。

## 4. 議員定数・議員報酬の決定要因となる基礎資料の収集

調査検討に当たっての基礎資料等の収集については次のとおりです。

### 議員定数、議員報酬等に関する調査

① 全国の人口39,000人～44,000人の36市との比較検討

② 長野県の19市との比較検討

上記①、②の比較において、県内19市の比較では自治体規模の違いが大きいことから、全国の人口39,000人～44,000人の小諸市を含む36市を対象として比較検討しました。

③ 市長、議員の活動量比較と公務員、民間企業との勤務日数及び給料の比較

議員定数では、類似団体36市の平均が17.9人であり、小諸市より1.1人少ない状況でした。

類似団体の平均報酬は、349,253円であり、小諸市より16,253円高い状況でした。

## 5. 人口の推移と市税の推移、議員定数及び市長・議員報酬の推移

平成14年を起点として、人口・市税・議員定数の推移の一覧

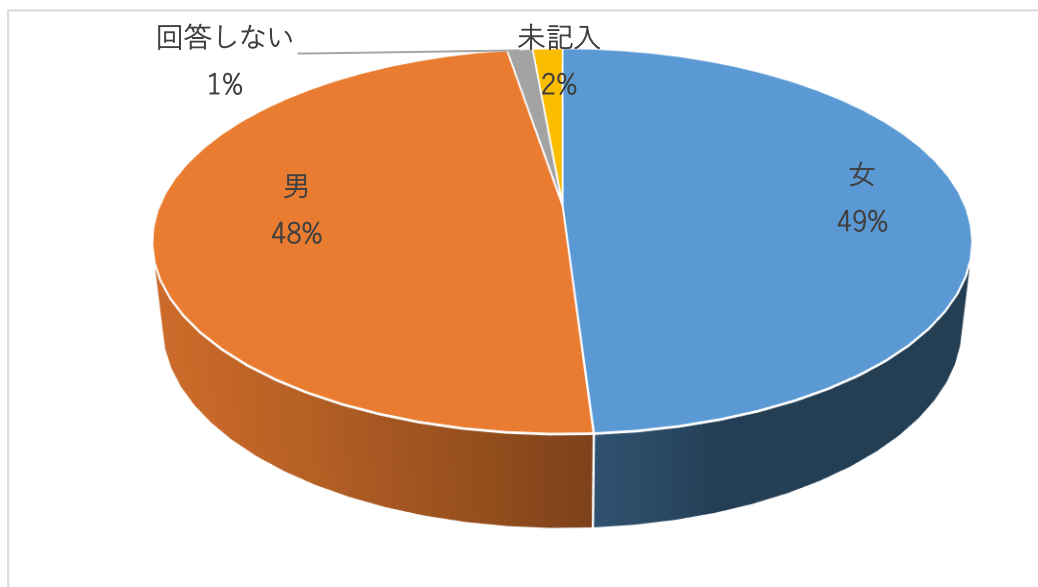
年度	項目 人口 (人)	市税 (億円)	議員定数 (人)	議員報酬 (円)	市長報酬 (円)	参考事項
昭和30年			30			
昭和58年			28			
平成3年			26	326,000		
平成10年			26	333,000		議員報酬改正
平成11年			24	333,000		定数改正
平成14年	45,007	52.5	24	333,000		
<b>平成15年</b>	44,918	49.6	24	333,000		
平成16年	44,816	49.6	24	333,000	759,000	
平成17年	44,593	49.6	24	333,000	759,000	
平成18年	44,523	50.2	24	333,000	759,000	
<b>平成19年</b>	44,306	56.9	21	333,000	759,000	定数改正
平成20年	44,268	56.9	21	333,000	893,000	市長報酬改正
平成21年	43,948	52.1	21	333,000	893,000	
平成22年	43,755	50.1	21	333,000	893,000	
<b>平成23年</b>	43,602	51.5	21	333,000	893,000	年金廃止
平成24年	44,046	49.9	21	333,000	893,000	
平成25年	43,717	49.7	21	333,000	893,000	
平成26年	43,559	50.7	21	333,000	893,000	
<b>平成27年</b>	43,350	52.5	19	333,000	893,000	定数改正
平成28年	43,121	52.6	19	333,000	893,000	
平成29年	42,714	51.3	19	333,000	893,000	
平成30年	42,594	51.3	19	333,000	893,000	
<b>令和1年</b>	42,364	52.2	19	333,000	893,000	
令和2年	41,954	54.8	19	333,000	893,000	
令和3年	41,839	54.1	19	333,000	893,000	
令和4年	41,649	55.3	19	333,000	893,000	
令和5年	41,562	57.4	19	333,000	893,000	

アンケート形式により、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、1,500人を無作為に抽出し回答をお願いし、回答数は498人で、内訳は郵送回答427件 電子回答71件であり、回答率は33.2%であった。

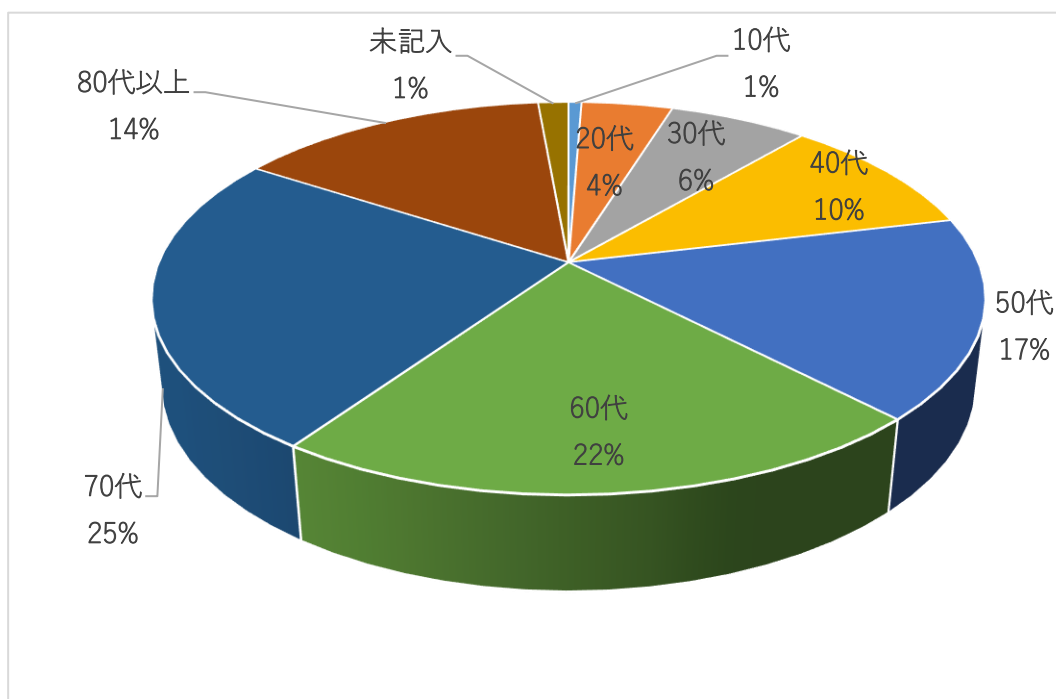
## 1. あなたについて教えてください。

問1・問2 回答者の性別及び年代別

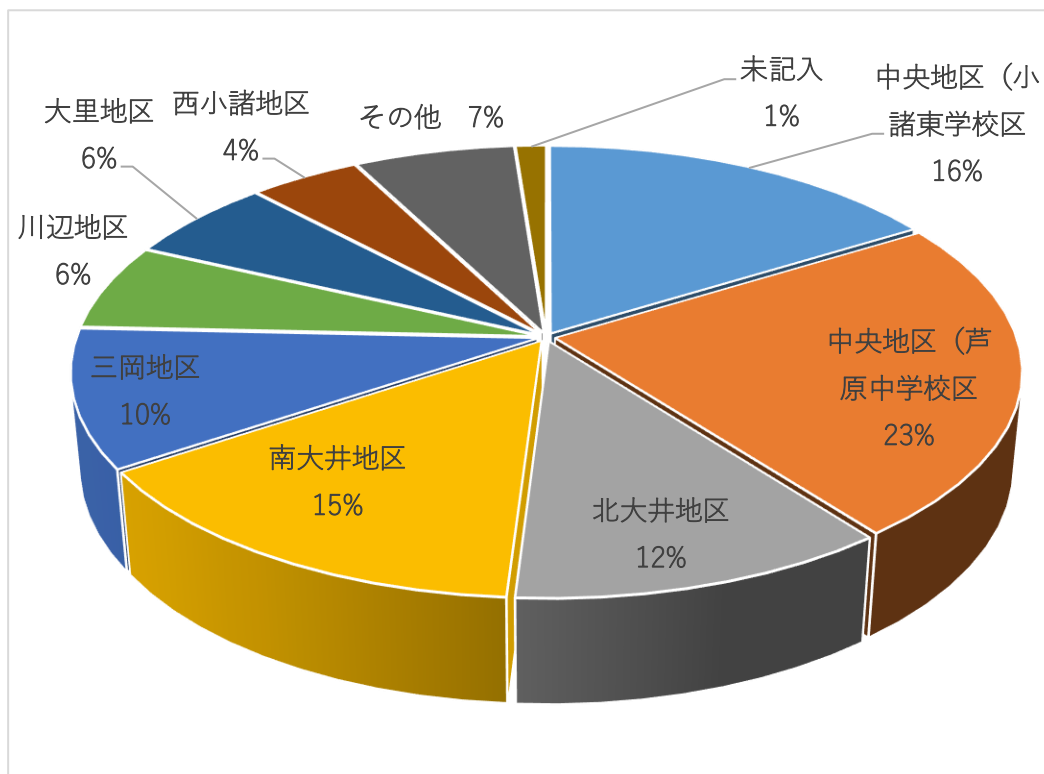
### 性別



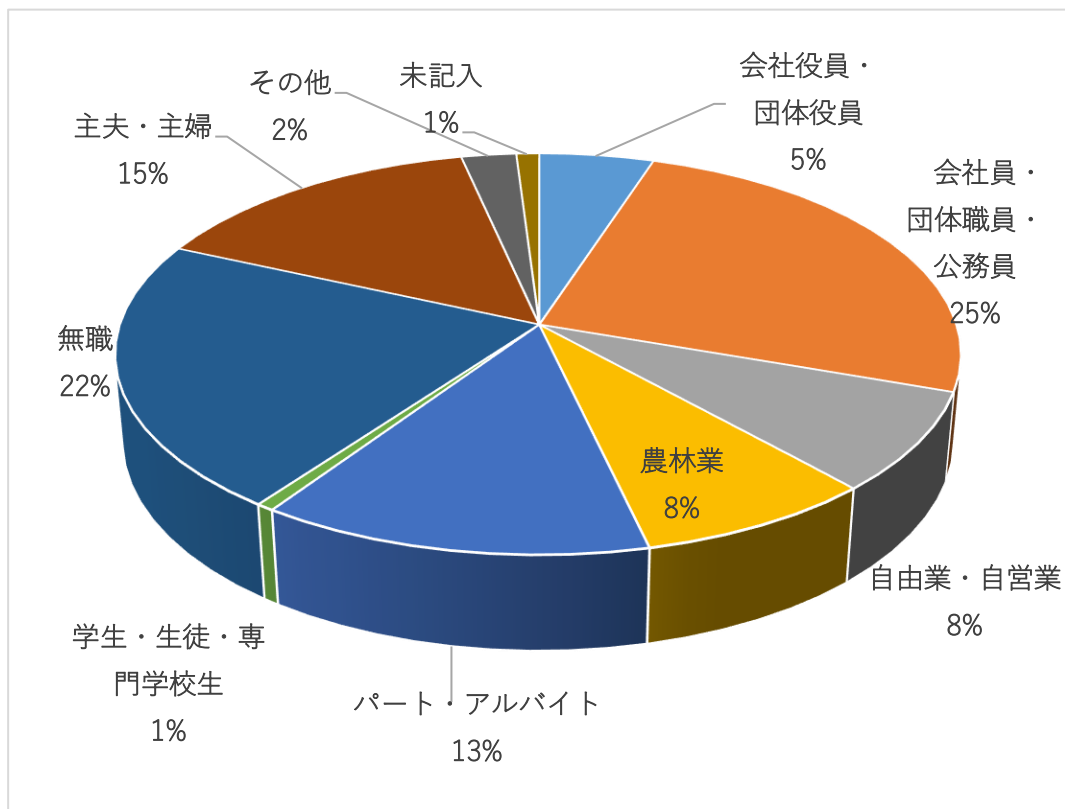
### 年代別



## 問3 あなたの居住地（地区名）（○は1つ）

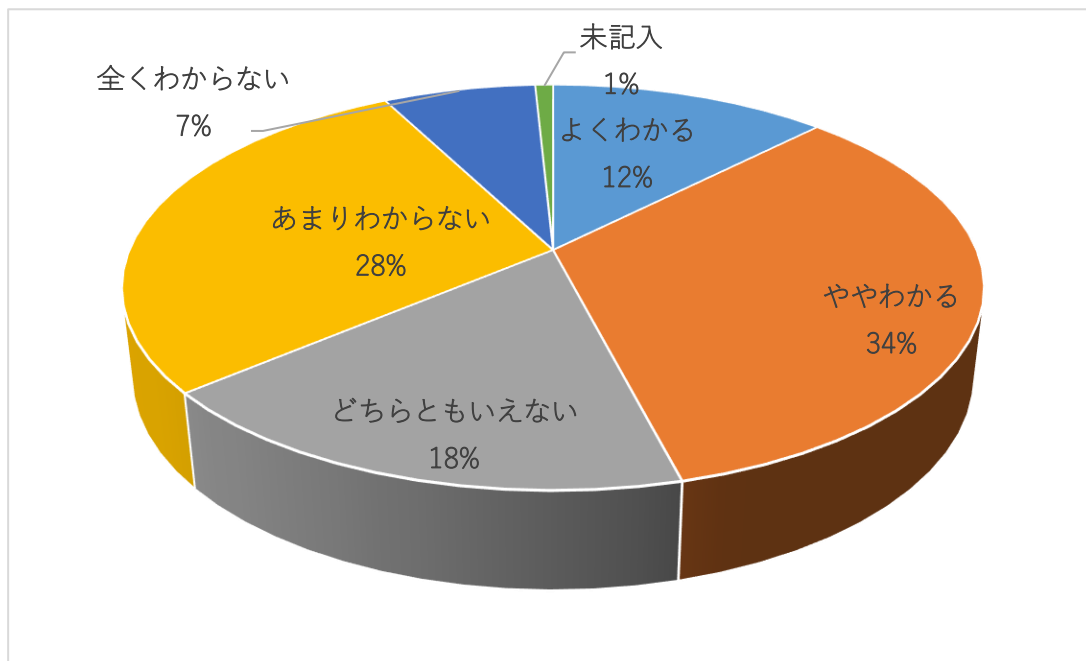


## 問4 あなたの職業（○は1つ）

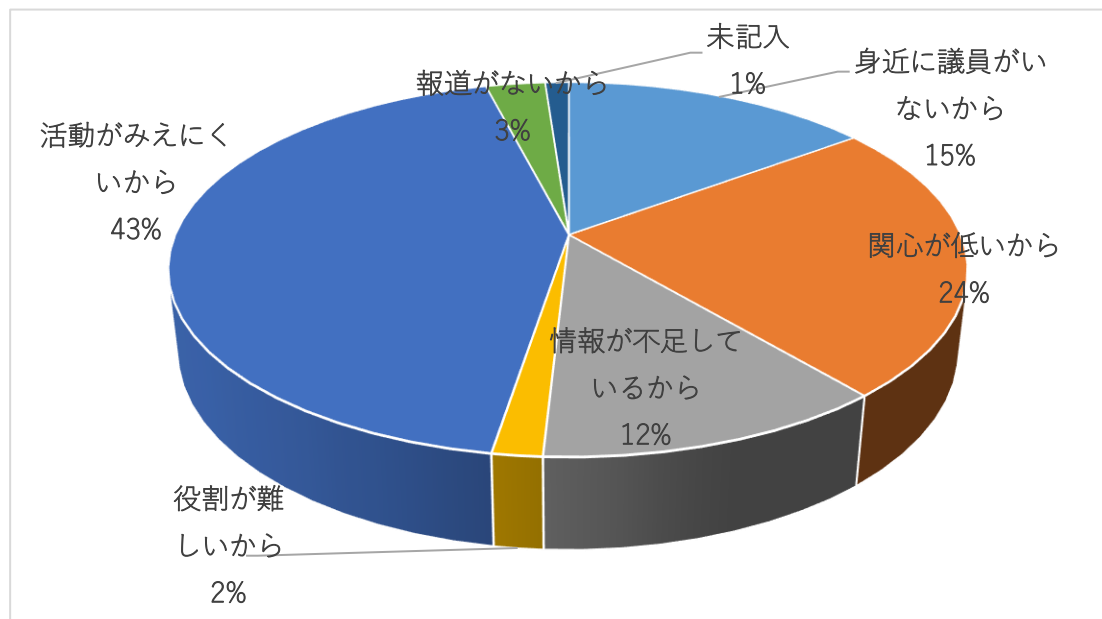


## 2. 小諸市議会と議員についてあなたの考えをお聞かせください。

問1 あなたは議会や議員の役割がわかりますか。(○は1つ)



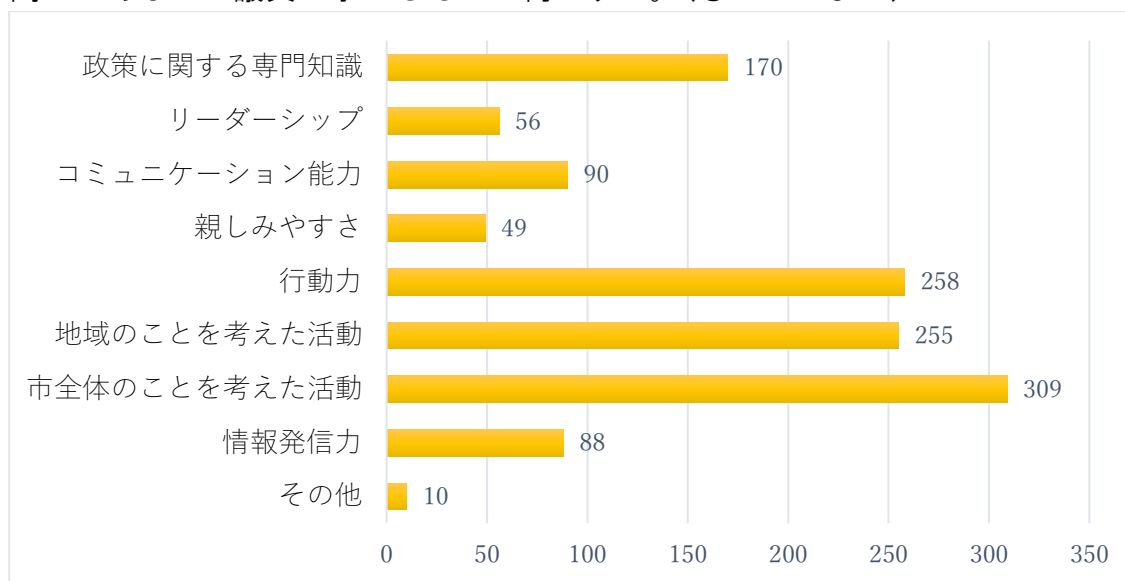
問2 「4. あまりわからない」と「5. 全くわからない」を回答された 176 人の記載していただいたその理由 (○は1つ)



### その他の内容

- ・ 議会質問を聞いていても市民のためよりも古い建物に金をかけたり町内だけのことばかりコンパクトシティってなんですか？
- ・ 何をしているのか情報が少ない。
- ・ 小諸市議会と議員の働きぶりの情報がない。

## 問3 あなたが議員に求めるものは何ですか。(〇は3つまで)



## その他の内容

「意見を聞く」

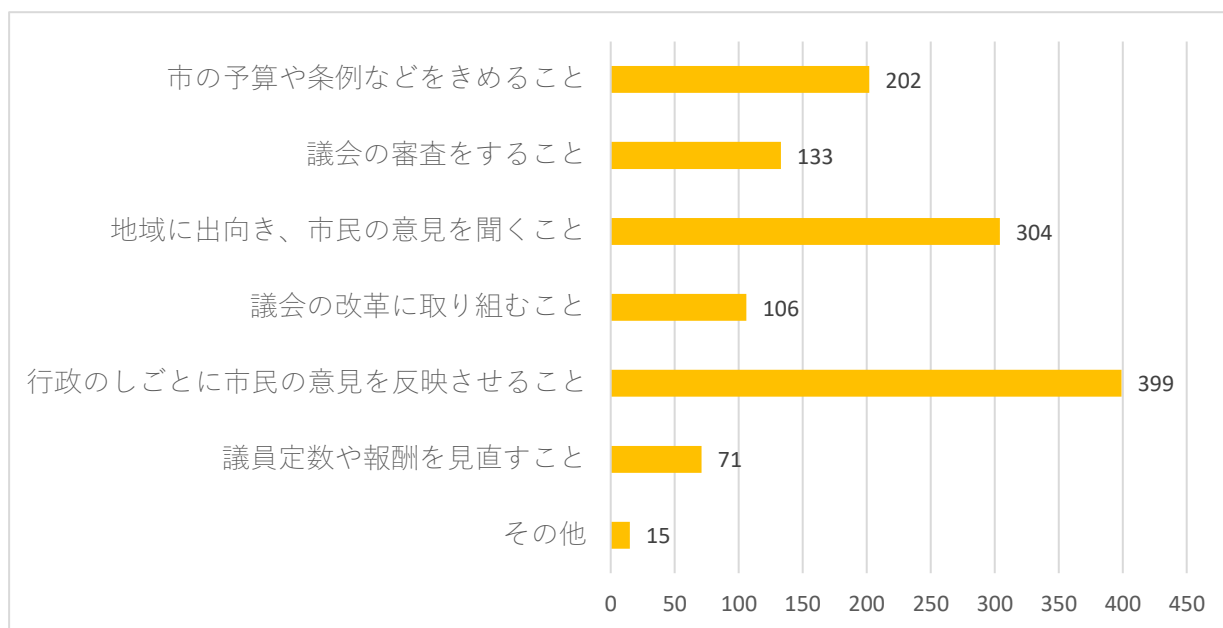
「この街を良くしたいと思う強い意識」

「聞く力」

「日常的なトラブルの解決」

「若い考え」

問4 あなたは、議会が取り組むべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

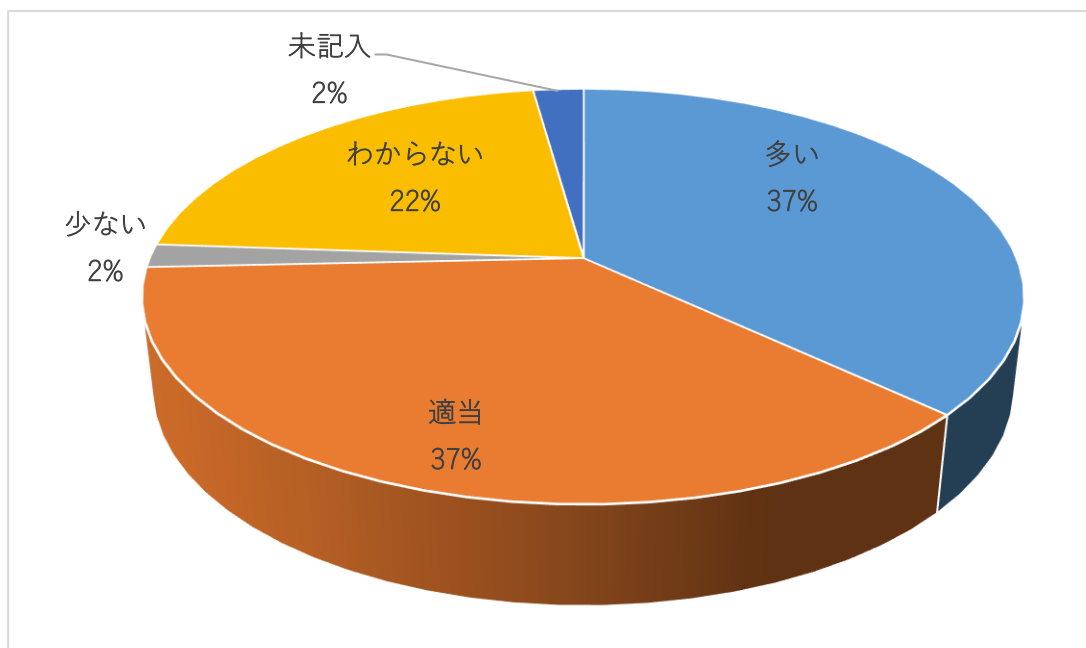


### その他の内容

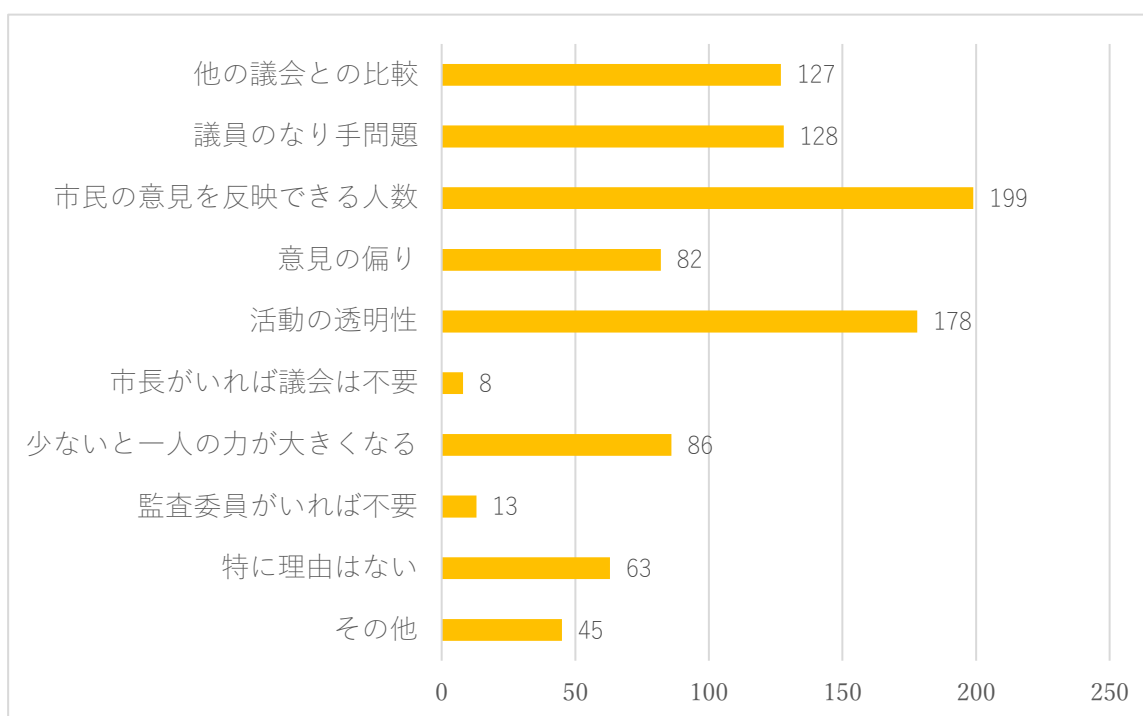
- ・市の将来に向け若年層が関心を持てる政策を具体化すること。
- ・市政や予算の正当性の確認意見
- ・この街のために今何が必要かを感じ具体的に提案し行動すること。
- ・地域をよく見て歩いて下さい。相生町本町に人が歩いていますか！
- ・国会で憲法改正の発議が出された時、市議会として護憲の立場から意見書等を発信できるように準備しておくこと。
- ・具体的な質問をして具体的な答えをしてもらうこと。
- ・議員の地区ばかりでなく市民全体の改革に取り組む。
- ・一般市民が参加しやすい議会づくり。
- ・行政の仕事の結果を市民に報告すること。
- ・長期的な視野で政策を提案すること。
- ・市・地域全体・今後を考えた発展と持続可能な政策・立案・実行・地域広域・企業連携（鉄道）、公共インフラの維持と利用含めて。
- ・行政と一緒に市をよくするアイデアを出して行動すること。
- ・行動だけではなく、成果にコミットすること。

### 3. 小諸市議会議員の定数と報酬についてあなたの考えをお聞かせください。

問1 あなたは、現在の議員定数19人をどう思いますか。(〇は1つ)



その理由は何ですか。(〇は3つ)



## その他の内容

### 【多いを選択】

- ・ 議案の審査とするための人数がいればよい。
- ・ 今の定数で委員会そんなに必要ですか、個人質問代表質問レベル低いです。
- ・ 必要を感じない。
- ・ 選挙にならない可能性を含め誰でも OK なのもおかしいから。
- ・ 無駄な税金の投入
- ・ 人口減に伴う将来を考えること。
- ・ 人口が減っているから
- ・ 多くても活動に反映されていないから
- ・ 定数減の予算を教育予算に振り替える。
- ・ 活動実績がわかりにくい人が何人も必要ない。
- ・ 議員報酬の増大化になっているため。
- ・ 余生を名誉職で楽しんでいる人ばかり。
- ・ 何人が必要人数かがわからない。
- ・ 立候補者の将来の小諸市の目標、有権者に示せるのであればよその自治体並みでかまわない。
- ・ 何をしているかしているか見えない議員が多いのでは
- ・ 市債の多額さ減のため。
- ・ 個々の能力、知識のある人が必要
- ・ 議員よりも、様々な現場で働く人の人数を増やしてほしい。
- ・ 効率化、無駄に人数がいれば良いとは思わない。

## その他の内容

## 【適当を選択】

- ・人口 2,000～2,500 人に一人が妥当な数字だと思う。
- ・類似市の平均定数が小諸市の必要定数とは限らない。
- ・20名でもいい。これ以上減らさない方がよい。
- ・36市の定数平均より人口に対しての議員割合を知りたい。
- ・19名の議員が適正に貢献されていればOKかと思います。それをだれが評価されるのでしょうか？
- ・少なすぎると小諸市の未来や可能性が少なくなる。
- ・4万市民に対して適当と思われる。
- ・選挙になる人数だ。
- ・予算の節約
- ・今のままで問題がなさそう。

## その他の内容

## 【少ないを選択】

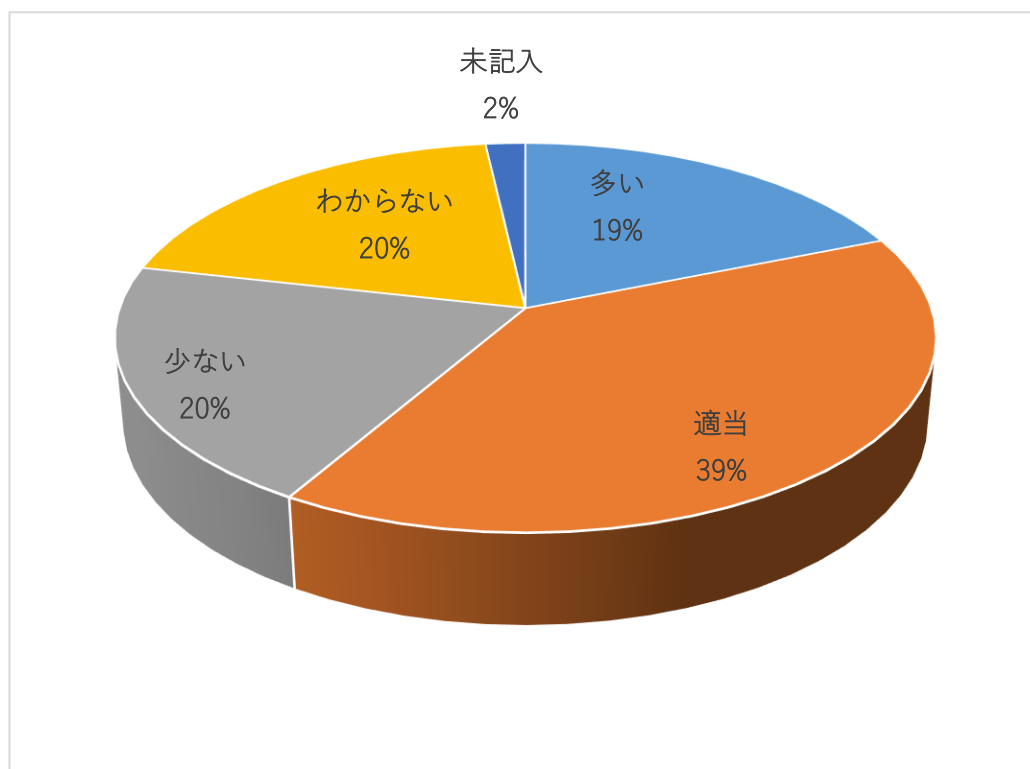
- ・少数の意見を反映するには多い方がよい。

## その他の内容

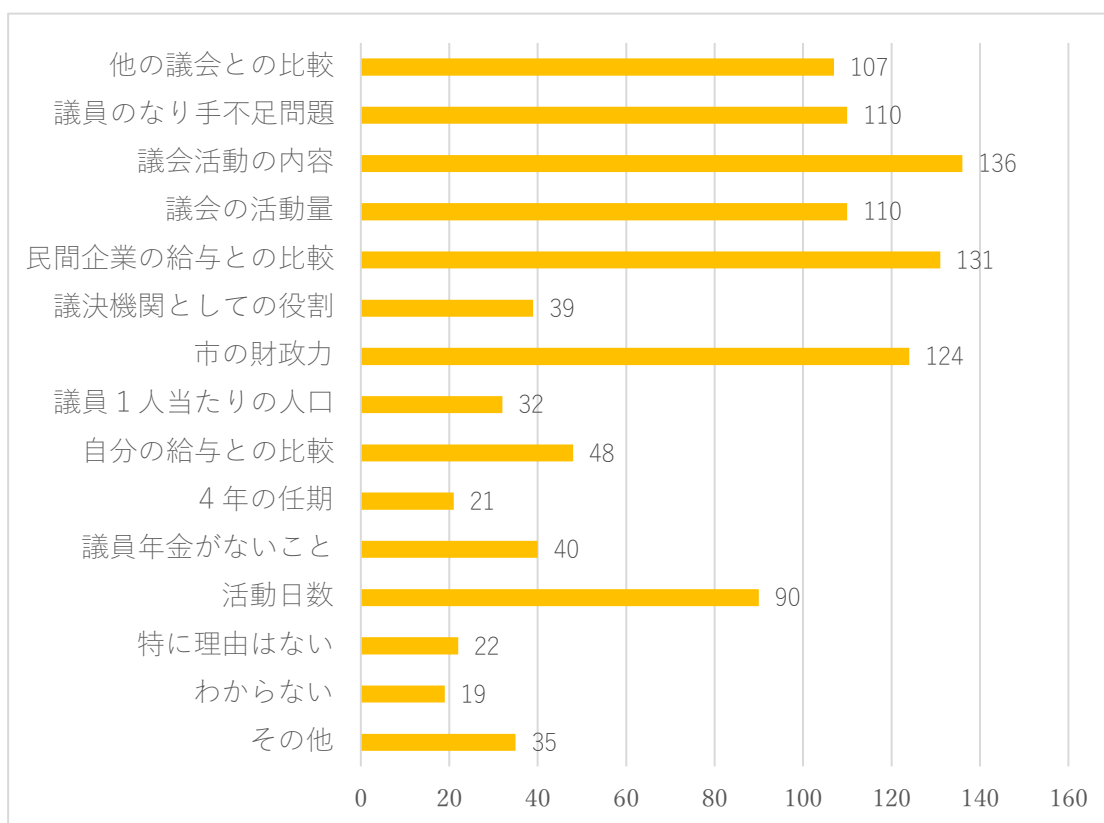
## 【わからないを選択】

- ・人口の増減ではなく仕事量により決めるべきと思う。
- ・活動が見えないので定数が妥当かわからない。
- ・報酬を少なくし人数を多くした方が良いがなりたいという人がいるかどうかという点では難しいです。
- ・議員に仕事をやる気があるのかないのかの問題
- ・1人1人の動きがわからない。
- ・小諸市の人口及び財政力
- ・人口減少に伴い定数は少なくしても良いと思う。
- ・増減により一人にかかる負担感がどの程度変わるのかわからないのでわからない。
- ・人口減少とともに減少するのは当然のことと思う。
- ・内容が見えないから、定員が妥当かわからない。

問2 あなたは、現在の議員報酬33万3千円/月をどう思いますか。(〇は1つ)



その理由は何ですか。(〇は3つ)



## その他の内容

### 【多いを選択】

- ・ 毎回タイムカードをやったらどうか。
- ・ ボランティア活動でよい。
- ・ ボランティアの方が市民の役だっている人の方が多い。ボランティアでも月 20 日以上動いている人もいる。
- ・ 議員は名誉があるのでボランティアでやるべき。それで生活しようとする方が誤りです。
- ・ 議員という肩書きだけが欲しいような気がする。報酬に見合った活動をしているとは思えない。
- ・ 議会が 1 年中通して開かれているわけではない。議会がない時でも報酬が出るのだから。
- ・ 普段、何をしているか全く見えない（行動）。議会の時だけ、毎年同じような質問しかしない。誰がなっても同じ。政治家と一緒にです。
- ・ 問題は年代と男女の比率
- ・ 議員が小諸市のために結果を残す政治ができるのであれば、本来議員報酬の額が話題になること自体疑問である。
- ・ 議員を一般の「職業」と同等に考えるべきではない。と考えており、他市と横並びにしておけば良いという意見があるとすれば賛同しかねる。
- ・ 自営業でも、収入があるはずだから

## その他の内容

## 【適当を選択】

- ・議員の外仕事はほとんどやっている。
- ・議員のなり手不足の解消のために報酬を増やすのは本末転倒
- ・他に仕事を持っている人もいる。
- ・他に手当などあるだろうし、活動量、時間、改革が少ない。65歳過ぎてでもできるんだらうから。
- ・高すぎることはないが、50代としては安いのでは？家族がいた場合は厳しい。
- ・だれがこの報酬を決められているのでしょうか？
- ・それ以上低くしても議員のモチベーションが上がらない、責任ある職業なので議員数を減らし給料を上げ、一人一人の成果をより明確にしてほしい。
- ・世の底辺はもっと少額で生計を立てて暮らしています

## その他の内容

## 【少ないを選択】

- ・長年の据え置き、物価等の変動
- ・市場の給料と比較すること
- ・議員の高齢化（意見が偏る⇒斬新な発想・取り組みが出来ない。）・若手がなりたがらない。
- ・今の時代、その金額では生活できない。
- ・子どもがいたりする家族などは他に収入がないと生計を立てるのは難しいと感じる。
- ・汚職を抑止する手段としてその職責に見合った矜持を持たせるため。
- ・議員も定年制で良いと思う。
- ・確定できる情報源の認識不足。
- ・能力のある人が議員としてやれるように責任と意識をもって活動してほしい。
- ・モデルケース 50代を見て

「バイト代は1000円/h×10h/日×25日/月≒25万 それだけの議員の働き方があるとは思えない。基本的にはボランティアでよい」

## その他の内容

### 【わからないを選択】

- ・ 任期中の収入が他に無いのであれば少ないと思う。
- ・ 活動が伴えば報酬は少ないと思う。活動内容がわからないので妥当性がわからない。
- ・ 議員の働きで多いか少ないかは議員はどう思っているのか。
- ・ 市税比
- ・ 議員としての仕事量活動量がわからないので判断できない。
- ・ 公務、業務は経費で使用できるため。
- ・ 低いと議員の質ややる気が低下すると思う。
- ・ 能力・経験がある方がなりたがらない（特に現役世代）
- ・ 仕事量が見えないので判断できません。
- ・ 具体的な活動内容がわからないから、報酬が妥当かわからない。
- ・ 活動内容が明確にわからないので、何ともいえない。

## その他の内容

### 【選択は未記入】

- ・ 市議として何日活動してますか、15日なら多すぎるし20日なら適当、25日なら少ないのでは？
- ・ 議員活動の内容によって少ない人も多い人もいると思う。

## 4 .あなたは、議員定数や報酬が何であれば立候補を検討しますか。

## 議員定数順

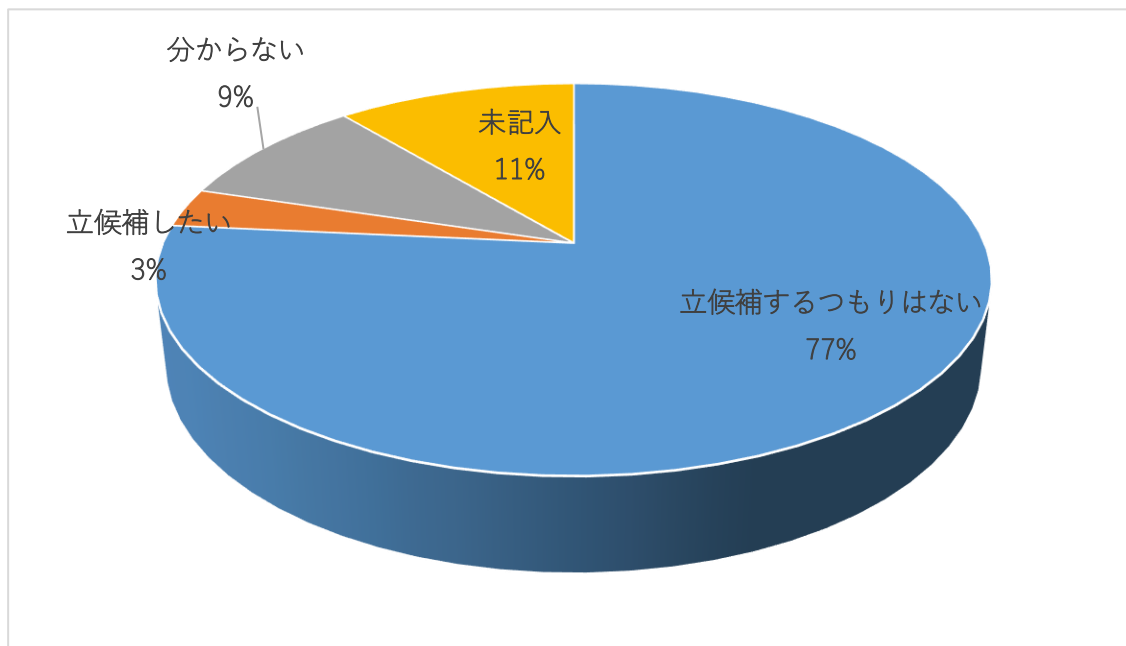
## 議員報酬順

議員定数（人）	議員報酬（円）		議員定数（人）	議員報酬（円）
7	0		7	0
10	100,000		10	100,000
10	250,000		20	100,000
10	500,000		未記入	100,000
12	500,000		10	250,000
15	330,000		未記入	250,000
15	350,000		未記入	250,000
15	500,000		16	300,000
15	350,000		16	300,000
15	400,000		18	300,000
15	未記入		15	330,000
15	未記入		19	330,000
16	300,000		19	330,000
16	300,000		18	340,500
16	350,000		15	350,000
16	500,000		15	350,000
17	未記入		16	350,000
18	300,000		18	350,000
18	340,500		20	350,000
18	350,000		15	400,000
18	500,000		19	400,000
19	330,000		30	400,000
19	330,000		200～500	418,000
19	450,000		未記入	420,000
19	500,000		19	450,000
19	400,000		10	500,000
20	100,000		12	500,000
20	350,000		15	500,000
24	500,000		16	500,000
30	400,000		18	500,000
15人以上	10万円以下		19	500,000
200～500	418,000		24	500,000
各区から1人	区民アンケートで		未記入	500,000
未記入	100,000		15人以上	10万円以下
未記入	250,000		各区から1人	区民アンケートで
未記入	250,000		15	未記入
未記入	420,000		15	未記入
未記入	500,000		17	未記入

#### 4 .あなたは、議員定数や報酬が何であれば立候補を検討しますか。

- 3.議員定数・報酬に関係なく、立候補するつもりはない
- 4.議員定数・報酬に関係なく、立候補したい
- 5.分からない

3～5 の内訳



※各設問のその他の内容についてはアンケートに記入して頂いた方の意思を尊重し、個人が特定される部分の削除のみ行い、原文をそのまま掲載させて頂いております。

※議員のなり手問題についてのご意見・議会に対するご意見等の自由記述につきましては別冊としてまとめました。

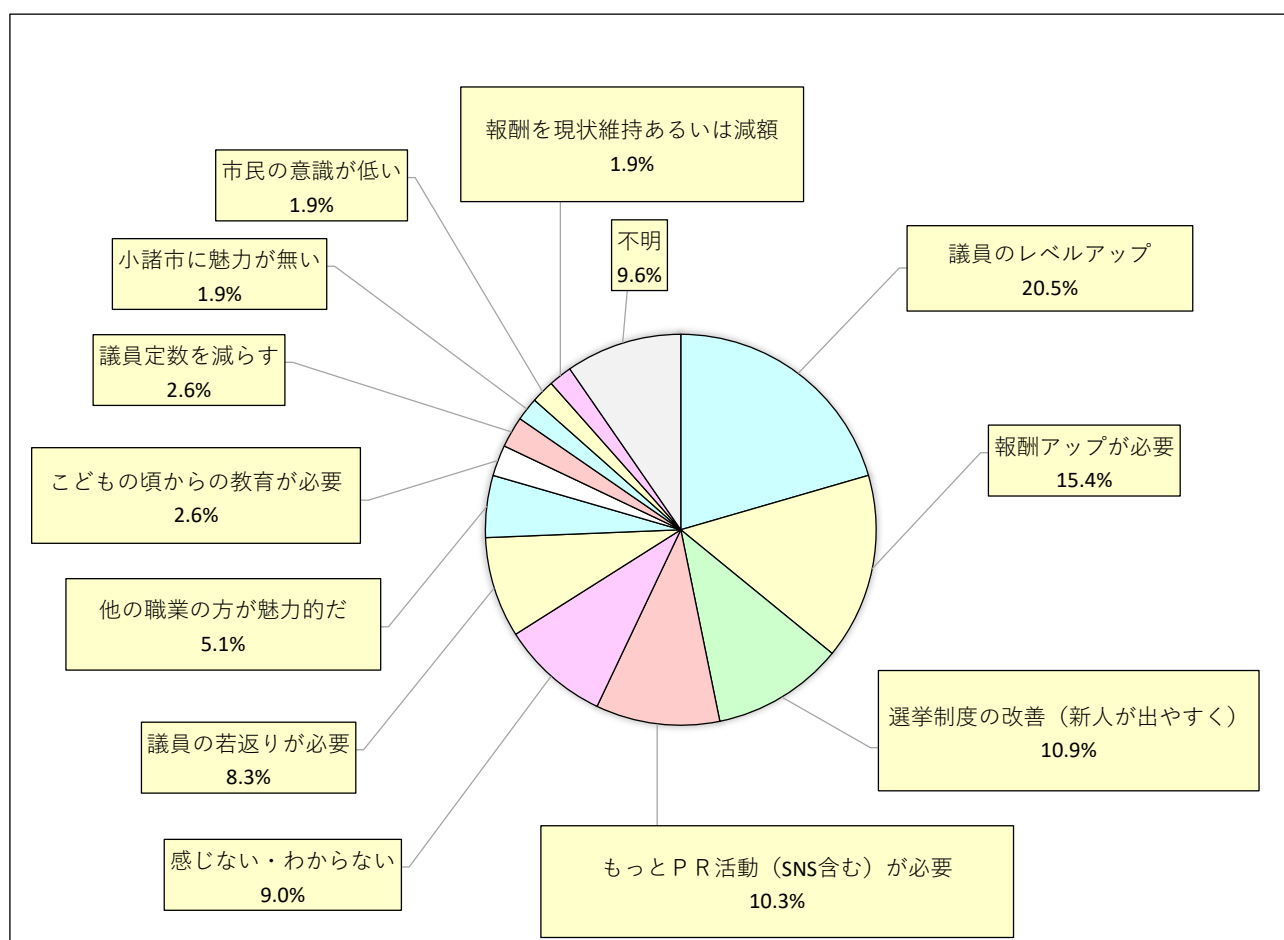
## アンケート 自由記載まとめ

アンケートのうち自由記載の「議員のなり手不足について」と「議会に対してご意見を」については、すべての意見をそれぞれ10項目程度に分類しました。

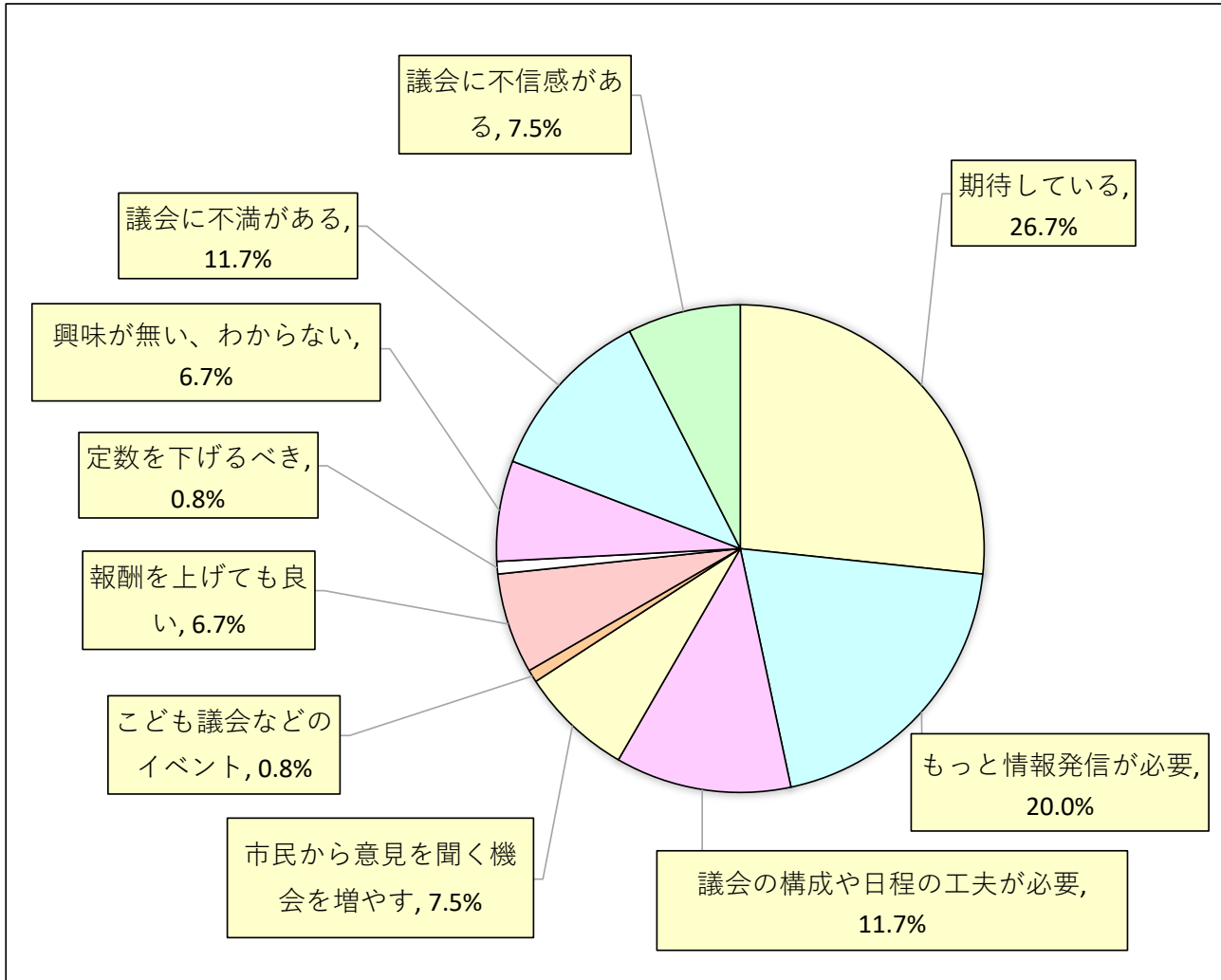
なお、記入して頂いた方の意思を尊重し、国政に対する意見、市長・行政に対する意見はグラフのデータからは除外したが、文章記載では個人が特定される部分の削除のみ行い原本に忠実にそのまま掲載しました。

1. 「議員のなり手問題についてご意見を」では、「現在の議員のレベルアップ」「議員報酬の増額が必要」「選挙制度の改善」「もっとPR活動が必要」などが上位となり、「他職業の方が魅力的」「こどもの頃からの教育が必要」などの意見もありました。

一方「興味が無い、わからない」「市民の意識が低い」などの意見もありました。



2. 「議会に対してご意見を」では、「現在の議員に期待している」「もっと情報発信が必要」「議会の構成や日程の不空が必要」「市民の意見を聞く機会を増やす」などが上位となったが、「議会に対する不満、不信」も一定数見られました。



3. 自由記載原本

別紙としてこの後14ページに分けて掲載しています。

No.	1. 議員のなり手問題についてご意見をお書きください。(自由記述)
1	前回の市議選は定数オーバーで選挙が実施され、また過去の市議選で定数割れになったことは無いと思いますので議員のなりて不足は感じられない
2	区の役員のなり手が少ないのと同じで、市民の意識の問題。
3	すべての事に損得を考えて行動する人が多くなった。 ボランティア精神で行動する人間が少なくなっている。
4	魅力ある町作り、将来に向けての構想が足りない(今まで) 特に若い人がやってみようと思う雰囲気が出てない。
5	議員のやり遂げたことや進めていることを市民に見える化し、もっとPRする。 議員のやりがい議員や経験者から聞いて反映する。
6	現在女性議員は5名と存じますが、人口の半分は女性であり、公私において重要な役割を担っています。
7	その点から考えても半数は女性議員であって良いと思いますが、女性が立候補し議員活動がしやすいような努力を議会はしているでしょうか。
8	人口減、給料も上がらない。半分で十分。税金だけ高くなる。なり手は半分で十分。ボランティア精神なし。何も変わらない。お金だけもらってよくなっていない。そんな人はいない。
9	なるつもりがないのでわからない
10	良い仕事をしてもらうため、子育て世代など幅広い層の人たちが参加できるよう、能力の高い人が目指せるように報酬は高い方が良い。
11	もっと市民に活動内容を発信してください。安芸高田市みたいにユーチューブをすとか。
12	私は市議会議員は名誉職だと思っています。個人が市議に対して尊敬の念を抱くような人が多くなれば良いと思います。
13	若い人もなり手が少ない点、議員以外の職業についてる人が多い。 市長さんの報酬は多いと思う。
14	本当に他人のために行動できる人が良いと思う。もう一度原点に戻って考えた方が良い。本当に困っている人を助けることのできる人。
15	議会は小諸市全体のことを考えていくという大義があるのだから、各議員は地元のことだけでなく、常に小諸市全体をよくするという考えであることを日ごろから発信していれば、自分もやってみようという若い人が増えるかもしれない。
16	組織票で成り立っているのでは、立候補するモチベーションが湧かないのではないかと。つまり立候補しても無駄だと思う。
17	若手が少ない感じです。人口問題や高齢化社会の対応に若手議員の声を。 ※若ければよいということではない。
18	県議以上はわからないが、市町村議で専業というのが一番の問題ではないだろうか。
19	これから少子高齢化でどの業種も人手不足が顕在化していく。特に若い世代は同世代が少ないうえに他業種に人を奪われて政治に関わろうという人も立候補しようという人も減るだろう。報酬だけが目当てではないにしても別に収入源がなくて30万円台前半では魅力に欠ける。選挙の結果落選するリスクを負ってでも人の役に立ちたい人にはそれなりに報いるべき。民主主義の当然のコストだと考える。
20	名誉だけで成る人だけ
21	無関心が多いですね。中学生・高校生になにか市議会にちょっと参加できるような企画があっても良いのではないのでしょうか。
22	応援してくれる人数が集まらなると議員にはなれない。立候補しても知名度がなければ議員にはなれない。
23	道に散らばるゴミが多く、川やいたる所で目に映るゴミがとても残念です。美しい小諸市を目指していただけたらと思います。
24	なにかとクレーム、問題になる議員を見て、静かに暮らしたいと思う人が当然で、常識的な考え方だから。人口減もあるかな。
25	議員報酬が平成10年以降上げられていないが、年々物価が上昇しているのに上げられていないのが不思議、報酬を上げてしっかり仕事をしてもらう必要がある。
26	議会の質問がなにか十分につっこみが甘い気がする。
27	Youtube等のSNSを活用し、手軽に議会関連の内容を配信するべき。
28	後期高齢者なので立候補しません。政治家として全身全霊をかけて臨んで頂きたい。 情熱と教養を持った政治家であって欲しい。
29	小地域の代弁でなく、市を通して一人一人の人生を豊かにする意志を持つ人。が議員となれるようにプロパガンダする必要性。
30	大変な仕事だといつも思っています。

29	何をしているのか見えづらいので見えやすく（何をやっているのかわかりやすく）する必要がありますと思います。中にはチラシなどで活動報告される方がいますが、ネットとかではだめなのでしょうか？（全議員） 行っていたら知らないだけなので申し訳ありません。
30	現議員さんのお仕事の楽しいこと、やりがいなど小さな集まりでも利用して小諸を愛する気持ちが伝わるようにお話して頂けると意識や市民の気持ちも少しは変わるのでは。私は小諸が大好きです。
31	名誉を手に入れて奉仕する人がやるべきだから、生活するためにやろうとする人に議員の資格はありません。市民のために考えてくれる人がいないとは考えられない。多くの報酬をもらっていてもできない人では困る。一度でも外に出た人の方がよりわかると思う。良いところ悪いところ・・・知り合い、なれ合いでやる人が気になる。奉仕精神にまかせます。
32	お金が欲しいから議員になりたいのではないと思う。市の事をどのように思っているのか、未来に向けて変えていける力がある人、変えていきたいと思う人がなるのではないか。現実には名誉のために議員に在籍するものだと思っているので一般人や生活に困っている人がなれるものではないと思っている。
33	市のため、市民のために動いてくれる人を望む。小諸市のことをよく知って欲しい。市民の生活も知って欲しい。
34	若い人をもっと増やすには議会をオープンにしていけないとどのような事しているのかわからないのではなり手は増えないと思う。若い人の意見が言いやすい議会。
35	真面目に議員の仕事をしようとする人には給与が少ない、サイドビジネスになる。
36	報酬をアップして若者に出てもらいたい。
37	手当の少なさ。市政を変えようとする考えの少なさ。
38	報酬は少なくボランティアと言う人がいますが、それは逆に聞こえの良い響きだけで現実には報酬4年間の専任、活動の充実に必要と思う。
39	なり手問題があること自体知らなかった。
40	90歳にもなり、1人で生きていくのが精いっぱい議会のこと、議員の事など考える余裕もありません。
41	行政に対して関心があまりない。誰が市議になってもなにも改善されまいだろうという。諦めている。
42	議員のなり手になる人は失業している人のためにあり、クオーター性の採用により女性議員を増やすこと。失業対策事業であってはダメ。
43	今も過去も議員の質に疑問を感じる。なり手がいなければどんな人でも良いのか？ 試験などをして適性を見極めた方が良いのではないか？（国政・県政も同様に） 不正や身分をかん違いする人が多すぎるので。
44	もう少し若い世代に頑張ってもらいたい。お年寄りの議員は若手の意見を聞いて「老害」と言い割れないようにして欲しい。
45	なりてが多いのか少ないのかわかりません。
46	議員活動をしていても年金が無く、老後の生活に不安がある。議員としてのメリットもない。
47	単純に報酬が少ないと思う。今の時代、手取り30万円でも借金しないと生活が厳しいのに何故損な薄給でやりたいと思うのか疑問。
48	若い人材、新しい人材が入ってきてもらわないと古い風習が続いてしまうので、なり手不足は深刻。優秀ななり手が入っていただけ。待遇になるのは賛成します。
49	名誉職で基本ボランティアがよい。
50	どれくらい選挙費用がかかるなど一般的費用面の提示があるとよいと思う。
51	議員報酬は安ければ良いというわけには行かないし、ボランティアでやれなどという余裕のある金持ちしか出て来ない。また、汚職予防の観点からもしかるべき額は必要。最もお金は持つほど欲しくなるというパラドックスもあるが。
52	真に小諸市を良くしたい人に出て欲しい。 今は老人の隙間仕事として立候補している。方々ばかりに見える
53	人口が減少しているのに、議員数が多すぎる。 ・報酬に見合った活動をして欲しい。 ・今の金額が少ないとおもっているのであれば ・世間の経済状況と見比べて金額を決めるべき。 ・報酬が少ないから、議員になりたくないのではなく、達成感が無いからだと思う。
54	議員さん、市長さんの報酬が20年以上も変わらないのはなぜですか？
55	より良い小諸市のために議会の仕事がどのように貢献があるか見えない。
56	人口減少及び少子化

57	①議員報酬が「なり手不足」の原因では無いと思う。議員の仕事が解らないし、やりがいがないことが要因ではないのか。 ②将来の生活に不安があり、年金制度を充実すべきかと思う。
58	市長選挙で新人が出たが落選したことでわかるように、古くから議員をしている方々強いので、市議も新人はなり手がいないのではないか・・・。活動力もわかりにくい。
59	立候補の推薦制度を市民、議員から。
60	高齢化が益々進んでいく中で、議員の高齢化も否めない現状。若い人たちがいかに議員に立候補してもらうか課題である。 選挙にはお金がかかる。社員が立候補しようとする会社から離れなければならない。落選したらどうやって生活していくのか、議員になるまで、様々なハードルを越えていかなければならず、魅力が全く感じられない。こういったところからも、見直ししていただき、その上で議員のやりがいを発信して欲しい。
61	各区1名は必要（住民の声が反映できるように！）複数区の是正（議員2名）
62	議員になっても所詮国、県の意見により特に公務員は逆らえないから、結局役立たず扱いされ、批判させるのがいやだ。
63	地区の問題や課題が市政に届かない。区長、議員、市職員、市長、誰に話しても「検討します」→つまりそれはやらない、できないと同義語で、区民や市民の声は「一応聞く姿勢は見せるが反映されない」ことを私たちは知ってしまった。もう騙されたくない。議員の仕事は国政から市政まで私利私欲だけ。市議が市民や地区のしあわせをかんがえて働いているとは思えない。そんな仕事に就きたいと思う人が今後出てくるでしょうか。
64	20才～60才までの有権者から各年代2名（男1女1）を選出する議会が公平だと思います。議会は昼間開催でも、各委員会は夜でも行って、市民に公開した議会運営を希望します。
65	今までのやり方で、なり手がなかなかないのであれば、環境や報酬を見直す必要があると思います。若手が参加しやすいような仕組みを整えたいと思います。
66	市政に対する知識・理解を小さな頃から教育していく必要があるのでは。そこから議員になりたいという気持ちを育てていくことが大事だと考えます。
67	給料の問題（民間と比べて）
68	子育て世代が議員をやっていくには、この報酬では厳しいのでは？30代40代の若い議員さんが望まれます。
69	4年に1回毎の選挙時点で、定数に比して+-あると思う。その時の経済、世相etcの状況で変化するので、定数削減ばかり議論するのはナンセンス。現在の定義を決めて10年。今回-1名とすれば、今後10年位は様子を見るべき。（人口が微減ならば）
70	・議会に対する住民の関心が低下している。 ・女性が活躍できるようになってきているが、実際の活動が見えにくい。 ・過日行ったような子ども議会はとても良かったと思います。若者が経験したり、内容をもっと理解するような場を設けたら、関心を持ち、立候補する人も増えるのではないのでしょうか。
71	あこがれられる議員さんの姿を見れば、なりたい方が増えるような気がします。（選挙の前だけ姿が見えるのではなく、日ごろからの活動で）
72	誰が活動しても、結局同じこと。活動内容が全く見えてこない。もっと元気のいい議員が出て来てもらいたい。
73	現在過疎化が進む市町村で議員のなり手不足が深刻な事は承知しているが、本来理念と情熱が無い者はなるべきではないと考えている。
74	・選挙に時間、お金をかけすぎないようにしてほしい。・選挙に時間、お金をかけすぎないようにしてほしい。 ・議員数15人又は11人くらいが良いと思う。 ・小諸を良くしていきたいと思う方にぜひ小諸に住んで頂き活動して頂きたいです。（県内外問わず募集をしてみる） ・SNSの利用、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブの利用者あてに募集をかける。
75	立候補する時の強い気持ちで任期中活動して欲しい。実践を感じられない。やって欲しい人はいるけど、そういう方は立候補してくれない。地域の支援者確保も大変。
76	市税の収入が現状より毎年1億位ずつ増えていけば、全国並みに議員報酬もアップできると思うが、寒い地方での特産品を利用したアイデア等の募集を市民に呼びかける。
77	議員に興味のある人を募集して、議員教育をしてはいかがですか。
78	あまり小諸市がこの問題に直面しているという認識がありませんでした。
79	・なり手がいないのであれば欠員で議会を運営すれば良い。 ・なり手不足なのは議員に魅力がないからでは？
80	若い人達の活動や意見をつぶしてしまう古い何かがあるのかも。
81	議員が行っている仕事を明示する。何をやるのが仕事で、何ができるのかを知りたい。
82	男女の数が同数くらいが良い。地区推薦ではなく、本人の実力で判断したい。

83	H31市議選無投票となった時に「小諸市」に危機を覚えました。皆様のご努力で前回は大勢の立候補があり、選挙戦も活性化。市政に対する関心が高まり良かったと思います。「なり手」は報酬によるところが大きいのか、それ以外の理由が深く関わっているのかわかりません。ただその昔はステータスとして議員の肩書を得る方も（言い方は悪いですが、威張っていらっしゃる方）見受けられたのに対し、現代は献身的に頑張っている方ばかりな気がします。自己犠牲に陥らない報酬は必要だろうと思います。また、民意の反映という視点から、定数を削減することは慎重にと思わざるを得ません。ピックデータなどを基に、より良く機能する人数を算出していく等はできないのでしょうか。
84	今回は女性議員のやり手の方が多く当選していただきうれしく思っております。会派も5人で活発な活動を見ていると期待してしまいます。市議会議員はリーダーシップの取れる方でないと勤まらないと思いますが、我慢して2人で会派を組んでいる人を見ると寂しくなります。
85	市に対して期待、要望が明確ではないと思う。若い人たちが派閥に関係なく、未来ある市にするにはどうしたら良いかと話し合える議員であってほしい。世代の若返りが必要と思う。
86	若い世代が立候補することにより、今後の小諸市がどうなっていくか考えていけるといいと思うが、報酬が少ないと生きていけない。やる気になれないなどで、若い世代が立候補するという流れにならないと思う。
87	議員さんの活動が見えない。（日々の）
88	被選挙権を18才からに。供託金をなしに。定数を3割減に。
89	子育て世代にも立候補というのなら、環境から変えていった方がいいのではないかと。店舗の誘致（古い建物の利用）は力を入れているように感じるが、地元の人に反映されていなくて何だろう??と思う。南城公園はあるが地区ごとに公園も無いに等しいし、補助金とかも全国的に行っている最低限のものしかないし。（給食費の無償化や生ゴミ処理機の補助など小諸市にはない。）隣の御代田などはすごく頑張っている印象があります。少子化とさわいでいる割に全く市民に反映されない。移住者も御代田や佐久は人気がありそうで増えているみたいですが、小諸市はどんどん置いてけぼりになりそうで不安。誰が（このままだと）なっても同じだなあと考えると、市民の意識ももっと大胆にいろいろ変えていってほしいと願っています。
90	若い方が参加できるような工夫が必要。若年層が政治に関心を持つよう選挙活動に関する費用の補助や若者向けの政治教育を充実させる。他の職業と両立できるよう勤務時間や活動内容の柔軟性を考えるようにする。
91	仕事量に対して報酬が少ないと思う。
92	名誉職なのに、なんで議員のなり手がいないのかわからない。
93	地区に議員がかたまり過ぎる。各地区平等に人数を決めてほしい。（農業委員のような決め方）
94	小諸市の人口減少に伴い、小諸市に魅力があるのか。他の市と比べるとどうなのか。行政困難があると思います。
95	議員報酬が少ないと思います。だから立候補したいと思ってもためらってしまうと思う。あと任期を2年にして、いろいろな立場の人が議員となる事で市民の意見が反映された議会になると思う。
96	なり手がいないと耳にしますが？具体的には？このようなアンケートは毎年あるんですか？
97	議員に女性が増え、かなり活発に活動しているように見え、よろこばしいと思います。
98	小諸市の5年先、10年先の将来像を考えられるような若い人が立候補しやすい選挙制度でありたい。
99	古い考えは×。他府県から40年遅れているような人には立候補してほしくない。コミュニケーション力のない人は×。
100	中高生から議会に参加できるよう市の取り組みや意見交換の場がもっと日常的にできるような機能がもっと身近に感じ、体験できるようにすることで、不安や不透明さがなくなるのではないか。
101	議員報酬が低い。
102	議員の仕事だけでなく、もっと幅広くいろいろな勉強をして議会に生かしてほしい。
103	報酬を下げてそれでも立候補する人がいるのであれば、本当の議員だと思えます。
104	なりたいと思うぐらいの報酬でなければ、なり手は出てこない。て位数を減らして報酬を増やすことや、定数枠を年代ごとに配分するなど検討は必要だ。
105	本当は議員になりたいと手を挙げるのでできない人もいるかもしれないので、人材発掘、すいせんで立候補者を決められないかと思えます。（区長さんを決めるみたいに）中間報告書を読むと、結果が出ているようですので、それで良いのではと思います。-1人で報酬も正常化するのが望ましく、モチベーションも上がるのではないのでしょうか。若い方々の活躍を期待します。
106	氏の予算規模からは月100万円/人でも多くはないと思いますが、その活動や成果、議会の長期的なビジョンに対して報告義務とたっせき義務を課すべきと思う。
107	議員の報酬適当と思いますが、報酬上げなければなり手もないと思うが。
108	若手の議員のなり手がほしい。
109	道路の状況とか雪かきとか、市民の困っていることを優先してほしい。
110	議員のなり手が少ない問題についてであれば、ただ当然だと思うだけ。
111	議員が何をやっているのかまったくわからない。

112	議員は選挙時は一生懸命活動してアピールするが、当選してしまえば市民の声に耳を傾けているという印象がうすい。もっと活動の透明性や情報を発信すれば、議員に対して若者も興味を持つのでは？それに知人に議員がいればいろいろ意見や相談ができるが、そうでなければ「議員や議会」と言われても遠い存在すぎる。
113	小諸市に移住してきた皆様も含め、今後の展望に意見を持ち、姿勢・生活や環境の改善を考える人は多くいると考える。報酬額は十分であると思うので、地域の人材を発掘していくべきだと思う。
114	小諸の魅力の発信が少ないので市の事が理解できていないのでは。
115	18人という議員数について、特に少なくなって支障があるとは思わないです。少数精鋭の議員さんを現職の皆さんから後押しする形も考えても良いのではないのでしょうか。但し、やはり世襲制を感じるケースは無くして。少子高齢化が進む中、推薦制は必要かと思われます。
116	親も議員で、その子どもも議員になると、親の力を使っているところがある。差別感がある。
117	議員さんは市民の代弁者だと思う。小さな事も拾ってくれる人物が良い。
118	私は78才。今さら出る気はなし。
119	・2Pの間2、報酬が少ないからもっと上げてということですか？議員さんは自分の仕事とかけ持ちしていますね。又いろいろ引かれると記してありますが、サラリーマンの皆さんも同じように引かれます。議員活動は1カ月どの位働いているか知るよしもありませんが、うらやましい限りに見える。 ・遠くから見ていると、今の市長さんになり小諸市もいろいろ活動が伝わってくる。皆さんが住んで良かったと思える小諸市にしてほしい。若者が集まり、家庭を持てることを願う。
120	新幹線、合併問題、駅前開発など後手にまわっている、いつまでも古い人が意見を言うのではなく、若い人が出てこないといけないと思う。SNSなど使いこなせる人など必要。
121	他の市町村と比べて小諸市は30代の議員がおらず、40代も1人のみと平均年齢が高いと思います。それは市議会議員というものに小諸市民が魅力を感じていないのが原因だと思います。正直この人は4年の任期中何をしているのかな？と思う方も一部います。数名の議員の方はSNSを使い発信している方もいます。そういった方は活動しているな、と市民は認識できると思いますので、強制ではないのですが、SNSを使うことを議員に推奨することも必要だと思います。また、30代～40代の市民を対象に市議会が議員の魅力を発信する機会があればと思います。
122	子育て世代も立候補できる報酬金額にするため、2万円の増額することに賛成します。 ※議員定数は今より1名減の18名が適当。
123	議員のなり手問題を考えたとき、これからの現実問題として人口減少、高齢化が進む中で議員定数は他の市町村の例を参考に市、その時の人口に見合った定数を決めてほしい。又議員報酬は他の市町村の例を参考にして、あまり少額にならないように、この額をもらえるなら議員をやりたいという意欲が湧くような報酬にできればよいと思う。
124	一般市民が議員を志しやすい環境や情報開示等も必要かと。
125	・大変な仕事 ・自分の意見がどこまで通るのか？
126	若者に関心をもってもらえる工夫をしていただきたい。議員報酬を上げて議員に専念できるようになれば良いと思います。
127	若い方に議員になってほしいが、年金がないことで私としてはすすめられない。60才以上でも現在は体力気力、経験があるので、議員になっていただいてもいいと思いますが、他の仕事を持っていることにはちょっと心配に思います。
128	市長さんが言う、プライドが持てる様な市議会議員になってほしい。小諸の町が活性化され、プライドの持てる町になれば、議員のなり手も増えてくると思います。
129	40代から20代までの若い層の議員がもっと増えてほしいと思う。そのためにも充分給与が必要であるし、選挙に出やすくする環境も整備すべきだと思う。また、現議員の方々もそうした若い人の育成に取り組んでいただきたい。なお兼業、副業、年金等他に収入のある場合、相応の給与の減額があってもいいのではないかと。
130	よくわかりませんが、投票率の低さからも、すべてに関心がない若者、中年層が増えているように思います。どう関心をもってもらえるかではないでしょうか？
131	選挙で新たに選ばれた方たちの新しい意見がとりいれられる。そして市議会で反映されて行かないと、議員のなり手は減ってしまうと思います。「今までこうだったから。」「ずっと～だから。」と変わらない状態もよくないのかな、と思います。
132	18才以上でも立候補する、できるような社会になってほしい。議論できる議会であるようになってほしい。
133	面倒な選挙運動。家族の理解。
134	議員のなり手が減少しているのであれば、議員定数も減らし、市議選挙を実施すれば良い。
135	多くの人が選挙に出てくれるようになればいいと思います。
136	小諸に移住する前は長年軽井沢に40年住んでいましたが、夫が亡くなり自宅を売却、現在小諸に移住しました。小諸の事はよくわかりません。

137	議員報酬を市税の何%にするという議論はできないのでしょうか。地域が活性化し、財政状況が良くなり、4年の任期後に報酬が増えることになれば、議員のパッションが増し、なり手問題に一石を投じることができそう。議員定数も人口の何%にするという議論をしてほしい。他の自治体との比較も大切ですが。
138	サラリーマンの人が会社へ勤めて市議をやっていけない。もしやめた場合、4年間は良くてその後
139	しっかりした区長・よく働く市職員がいれば市民が要望したことはほぼ達成できるので、議員に頼むことはないし、今の仕事を止めてまでする魅力はない仕事と思う。報酬は20年以上変わらないので、上げる事はけっこうなことです。
140	議員は基本的にボランティア、夜間の議会、休日の議会 e t c 地域のボス的な議員はいらない
141	議員宝庫は奉仕精神を持ってほしい
142	名声や報酬を充てにする人はダメ！！立候補する人を事前に面接するとかそれなりのアンケートを作成し、渡して答えてもらい、有識者会議で決済する。
143	公報の議会質疑を見る限りだが、議員のレベルが必ずしも高いとは言えない様に思う。 給与をあげるのはやむを得ないとしても、もっと勉強してほしい。 議会内に緊張感がないからか？対立を好まない地域性のようなものがあるからか・・・？
144	古い建物。古い歴史等には今を生きる者にとってはそれほど興味がない。ずっと先を見たいと思う。
145	高齢者が多く発信力に欠ける傾向になっている
146	議員は、何をしているか、具体的に教えてほしい。 開会中の1日の流れと、閉会中は何をしているのか、など。
147	選挙に落ちた後の事を考えれば、お金がかかる世代が立候補するのは難しい
148	実際どのような活動をしているのか、議会開催中や以外も含めタイムスケジュールが気になります
149	議員になる以上に稼げる職業が今はたくさんあるし、なっても風当たりが厳しい職業は今どきウケない
150	少子高齢化が進んでいて将来に不安を抱く一方で、最近魅力的なまちづくりが進んでいることが目に見えてわかるように感じています。若い世代からも注目されるような変化が起こると、「自分の意見も聞いてもらえるのでは？」と期待が持てるようになり、なり手不足解消につながっていくように思います。
151	若い人がいないことに関して 若い人はそもそも市議に対して興味を持つ機会がない。 何をやっているのかどんな事が出来るのか私含めなんとなくしか知らない人がほとんど。 自分で調べるにしてもふれないから興味もわかない興味がないなら当然調べようなんて一切思わない。 皆、目の前の自分の生活が忙しいからそっちを優先する。
152	若い世代は政治に関心がないから次世代のなり手が少ないと言われて居るが、実際には関心がないのではなく関わりたくても自分達の世代に有用な政策がない為関わりにくいだけである。 また、立候補や選挙活動に多少なり費用や時間がかかる点が、子育て世代やサラリーマン世代にはなり手としてハードルが高い。
153	議員はどんな事をしてるのか、具体的に解りやすく広く市民に知ってもらえる場所や宣伝を増やす。 もっと小さい頃から政治にふれあう機会を増やす
154	今の議員報酬では成り手は少ないのではないかと思います。特に若年層の成り手はいないのでは？民間企業と比べると見劣りすると思います
155	会社員の場合は本業との両立が難しいことや市外や県外に出ってしまう若手が多いために若いなり手が生まれにくいと思う。 私も県外に通勤しているため、立候補しようとしたとしても入口のところで躓く。
156	議員の仕事内容や、給料、手当、勤務日数、議員になったら出来ることなどを小・中学生など若い世代に、シンプルに伝えることを行い、興味をもってもらえる環境作りをしてほしい。 もちろん、大人にも行い、表面上の無難なコメントだけではなく、辛いことなども分かりやすく伝えてほしい。
157	月収33万円の場合、子育てや介護を考えると、報酬が低すぎる。ボーナスがあるかどうか分からないが、年収500万円ぐらいは確保しないと、家族を養う観点から職としての議員は少し厳しい。そのために、若い世代の議員の成り手が無く、高齢者議員が多い要因であると考え。 次世代を担う若者世代の政治参観を促すためにも、一人ひとりの報酬を多くし、議員定数を15から16に減らし、人件費を大きく変えずに、質を良くしていく取り組みが必要であると思う。
158	小諸市の人口が5万に満たない。 人口が少ないなら、議員になりたい人も当然少ない。
159	古参の方々が幅をきかせているイメージで、いまいち魅力がわからない。思い切って全員交代にすれば、新しい風が吹くのではないのでしょうか。

160	市の媒体などから民意に寄り添う議員の姿勢を感じるが、論点がマイクロである。 もっと大きなゴールを達成する為に小さな問題に取り組んでいる ことをわかりやすくする必要がある。 ※私個人として、市として取り組んでいる大きな課題が認識できていません
161	自分自身が普通に生活するのにいっばい市や地域の事まで考えて行動できる人がいないのではないか。
162	国と同じで市も年寄り議員達が力を持ちすぎた状態で新たに議員になっても言いなりになるだけ
163	議会の役割りが、旧態依然として長老主導、職員任せ、市長への忖度政治では体質が変わらないのでやる気ある人は出て来ない。新しい事はつぶされる。
164	昔ながらの繋がりや、権力者。地元企業などの言いなりになり人を求める。若者は、排除感がいまだに根強い。市民の為の議員に出逢った方がない
165	市長に意見が言えないなど噂を聞いたことがあり、議員選挙で嫌がらせを受けた人も聞いたことがある。 議員が市長に意見を述べ、市長と連携し小諸市を良くしようとする最初の意気込みが続かないことが問題なのかなと思う。 議員の活動が伝わりにくい。頑張ってくれているのかもしれないが、広報を読まない世代もいるため。
166	なり手問題でnet検索すると、色々な記事が出てきました。 若い人、女性もなりたいと思うことができれば、立候補も増えるのでしょうか。
167	なかなか難しいですね。欠員が出ない分小諸市はまだいい方だと思います。 オーバーしなければ選挙が無く、余計な税金を使わなくていいと思います。

★アンケートに記入して頂いた方の意思を尊重し、個人が特定される部分の削除のみ行い、原文をそのまま掲載させて頂いております。

No.	2. 議会に対するご意見等がございましたら ご自由にお書きください。(自由記述)
1	多くの市民の意見を反映させるため、議員定数を24名に増やしてください。また議員活動に専念できるよう報酬を4～5万円程度増やしてください。
2	質問に関して市の提案に対して確認的な質問が多いが、自身の意見として提案の質問が少ないと思う。⇒市民の意見を反映する機会が少ない。
3	隣の佐久市・御代田町の発展と比べると市の魅力が無いと思います。 近隣の活動も参考に運営を進めて欲しい。
4	市政をよくするため、皆様一生懸命取り組んでいると思います。
5	市、議会に対して近年詐欺に関する事件が多く、広報小諸等(＋警察署)からの注意放送がありますが、対処療法にしが見えず根本的対応をお願いしたい。例えば電話は犯罪者と被害者が直接繋がるものです。市民の理解や社会の倫理対応が必要ですが、犯罪者の探知・追跡をもっと強力に進めることや固定電話のナンバーディスプレイの無料化等で受信拒否(直接繋がるを防ぐ)の設定まで介添えする等をお願いしたい。
6	民意が反映されないことが多いので、手当をもらうこと自体不当と感じる。 どちら側に立っているか考えた方が良いと思う。
7	小諸市の人口増を考えてください。
8	議員各々の活動がもっと伝わってくるような情報発信をして欲しいと思います。
9	そんなに人員はいらない。お金をもうけるサラリーマン化している。何も良くならない。佐久市に負けてまだあぐらをかいてはいけない。老人は国民年金で生きていけない。お金の差別、人の差別、暮らしにくい。人口が減っているのは住みづらい。生きにくい。未来が不安、結婚不安、子育てで以前の問題。市役所職員も多い、半分でいい。人口20年後2万人。回覧板もとしよりはだめ、配るのが大変、時代遅れ、ラインを使う。時代も変わっている、このままでは他の町と合併。
10	小諸愛を感じることでできる議論を期待します。この小諸をどうしたいかのイメージが一人一人の議員の皆さんが持っているのか不安があります。CTKの議会での内容を見てもう少し本気感があってもよいと感じました。
11	もっと市民に活動内容を発信してください。安芸高田市みたいにユーチューブをすとか。
12	小諸市の人口減対策。子供に対して出産から高校までの支援。
13	小諸市は古い町ですが、大手門にしても本町にしても観光客どんだけいますか？ 保存も大事かもしれないがもっと市民のための若者が集まる市に。小学校3校統合正しい判断でしたか？ 坂の多い町、統合は反対です。 市役所に行っても駐車場いつも満車です。 市役所に入っても車ほど人がいません。 要するに病院の駐車場ですかね。 まさか職員が停めていませんよね。 不便な市役所になりました！ コンパクトシティってなんですか？ 以上個人の意見で申し訳ありません。 最後に市議会だより読んで面白くありません。
14	採決の際は自分の意見でお願いしたい。 大切な採決の際必ず賛否が同数、自分の意見で。
15	派閥なき行動を望みたい。政党に縛られない行動。本当の名誉職人でありたい。
16	議会の役割は、行政のチェック機関 ②独自の提案・意見書 ③住民の意向を前もって把握、と考える。 例えば①～③について ①無駄を削って予算を減らし、地方税引き下げ条例を提出できるか ②憲法改正発議、国民投票となった時の準備はできているか ③ ①②の前提として住民の意向を膝詰めで尋ねて回っているか、 一層の活躍を期待するところであります。
17	近隣の市町村の方が頑張っていると思う。 子育て支援など小諸は遅れている。
18	若手が少ない感じです。 人口問題や高齢化社会の対応に若手議員の声を。 ※若ければよいということではない。
19	広報誌だけでなく、議員の政治活動以外の姿、人柄がもっと発信されるとよい。道路の整備、他市への視察、議会での発言内容は目を通すが、実物は選挙の辻立ちしか見たことが無く、4年間で何をしているのか、人柄を含めて知る機会が少なすぎる。
20	自分の価値観とも広い視野で。
21	以前住んでいた市では、毎年「市長への手紙」として小さな原稿用紙一枚と封筒を配布していました。スマホを使えばいいお年寄りや小さな子どもでも意見を届けられます。 私の母は何回か利用していました。 いいアイデアだったと思います。
22	ご自身の意見を市政に反映して欲しい。 市より「こども家庭センター」立ち上げと言っても子どもの数が減少しているのに待機児童が減らない。 もっときちんとした過去のデータを作成して未来に備えて欲しい。

23	<p>もっと身近なルール作りを、市民意識の向上を、「農家の家庭ごみ焼却問題」「産業廃棄物を自宅で焼却問題」毎日クサイ、アレルギー。鼻炎。耕作放棄地、空き地の雑草放置問題、草刈り機による飛び石問題、犬の散歩、フン問題、など</p> <p>市民はこんな小さい問題の中ご近所さんと口論の毎日です。</p> <p>最近特にひどいので転出を考えています。いずれ小諸市はなくなっちゃうよ。</p>
24	<p>地域に向向き、不満に思うことなど市民の意見、よく聞き、市民のために全力で活動して欲しい。</p>
25	<p>行動あってこそ実現可能。強い意志を継続すること。行動あってこそ実現可能。強い意志を継続すること。</p> <p>公正・公平で効率的な市政が実施されるように執行機関を監視する役割が議会です。受け身的な議会でなく積極的な能動的な政策を立案することを期待します。</p> <p>※小諸市こども議会はとても良いことです。</p>
26	<p>なんとなく時間が来てやってくれる議会でなく、必要性があってやる議会へ。</p>
27	<p>ご苦労様です、がんばってください。</p>
28	<p>CTKで見たりするが、意見とか言われる方があまりいない気がする。議案の見直しや精査はしないのでしょうか？それとも議員の理解不足なのでしょうか？</p>
29	<p>私たちには議員さんの活動やお仕事わかりにくい。小さな集まりでもちょっと顔を出して短い時間で議会の様子をお聞きできると嬉しいです。</p>
30	<p>もっと市民のために活動して欲しい。細かく見て何が必要か考えるべき。生活しやすい市になるように努力して欲しい。小諸駅前の姿、観光客がどう思うか。二度と来てくれないような今のままではだめ。顔になるよう古いきたない飲み屋街をなくして欲しい。観光都市小諸ではなかったのか。布引観音の整備を早くした方がいいと思う。旅番組や海外旅行者が注目し始めたから。</p>
31	<p>市に対して、市内で働く人に対しての改善、対策が実感できない。現状維持で改革が感じられないのに、企業よりも給料をもらっていてまだ上げようとする理由が理解しがたい。その上げようとしている賃金を低賃金で命を預かっている保育士さんや教育をしている学校の先生に回すべきだと思う。3歳未満で預ける子どもは増えているのに公立の保育士さんの賃金が低すぎる。子どものいる親相手だけでなく保育している人にも目を向けて欲しい。</p>
32	<p>このアンケートが来るまで議会の事をよく知りませんでした。議会の内容をスマホの小諸市メールマガジンなどでも見られるようにしたらどうか（してたらすみません）。</p>
33	<p>TVでは見るが議員と直接接することが無い。</p>
34	<p>空家対策にも取り組んで欲しい。</p>
35	<p>議員は女性（1/2）が必要で、女性議員の目線、活動が望ましい。</p>
36	<p>提案・要望を伝えたい際、個別議員への場合が多いと思われるが、議員全体にお伝えできるメール等の入り口ができませんか？</p> <p>また、すべてがデジタル化していたりインスタ発信であったり、とこれからの高齢化社会に向けてこの状態が本当に良いものであるか、再度考察願いたいです。</p> <p>市民の代表です。もっと自由に意見等交わせる手段、機会が欲しいと願います。議会の会派は市民にとっては無意味だと考えますが。</p>
37	<p>検討結果については妥当だと思います。ただ手当がどのくらいか？平均が知りたかったです。より改善改革に取り組み成果を広報の最初のページで写真入りで特集してください。</p>
38	<p>いろいろな面で弱い立場の人のことを考え、行動して欲しいと考えます。</p>
39	<p>人口に対して市議の人数が多すぎている。報酬額も多すぎている。もっと必要なところにお金を使って欲しい。今期の市議員は女性や若い方が増えてうれしかった。頑張っていて欲しいです。</p>
40	<p>議員個々の政策議論に期待しております。</p>
41	<p>市民が興味を持てるような議会にできないのか？決まった形式でやってもやらなくても同じな議会になっていないか考えて欲しい。</p> <p>決して一生懸命やってないと言いたい訳ではありませんが。</p> <p>一般質問でも自分が懸命にやっても認められることがほとんどである事も皆さんおわかりでしょう。</p>
42	<p>年配の議員の方は、昔の考えを少し改め、アップデートしていかないとダメだと思います。昔のが全部悪いわけではないですが・・・</p>
43	<p>よいま町にするために多くの意見・声を聞く場を設けてください。</p> <p>広報「こもろ」に議会のようすをわかりやすく載せる。</p>
44	<p>議員としての学習を行い、質問内容をしっかり自分のものとして議会にのぞむこと。</p>
45	<p>何をやっているのか全く分からない。もっと透明性を出してもらえると嬉しい。</p>

46	①その考えはスタートアップ企業崩壊します。 ②ダミー会社問題と同じ。 ③議席を増やす500議席持てたらどうでもよくなる。 ④オリンピック招致(冬季)
47	実際に生活している中で議会の活動や存在を意識することが全く無い。若い世代はなおさらです。市政や議会の活動を時代に合わせて周知する工夫が必要だと思います。
48	1年間の間に、何日、間議会が開かれるかよくわからない。情報誌に議員が質問したことなどのってわかるが、議会が1年間に何日開かれ、議会が開かれていないときは、何をしておられるかわからない。
49	議会報告をして欲しいと思います。そこから学ぶことが多いと思います。
50	何を行っているのか、よくわからないので、わかるような活動・報道など行って欲しい。
51	報酬増額2万円は適当でない。区切りがいいから2万円というのはダメ。15,000円が妥当だと思います。
52	小諸市が豊かになれるよう努力してもらいたい。
53	どんな事を話し合っているかよくわからない。現在の小諸市が抱える問題点などをもっとわかりやすく、発信するといいたいと思う。
54	何かをしても、しなくても、一定の金額が支払われていることが問題である。多すぎる。以上
55	議員報酬は上げるべき。(年金も含めて)。理由は前頁参照。
56	活動しているのか理解しがたい。 自分の活動内容をもっとアピールすべき。
57	・活動内容がわからない。 ・老人の暇仕事のように見える。 ・名誉職化している議会は、なんとかして欲しい。 ・国会も地方も同じだ。真剣に自分のことを振り返って市民の代表として恥ずかしくないか考えて欲しい。
58	当アンケートの資料に市議会議員の業務量(時間・労力)を提示せず、報酬を上げることについてする事はおかしい。
59	町・村の事業が議員さんに力を出して頂いた結果がはっきりと見えない。
60	・小諸市を活性化するように考えて欲しい。 ・もっと人が来るような施設を作るとか(ラウンドワンを来てもらうとか、コストコのショッピングモールのようなものをつくるとかする。コンサートホール(大型)。文化センターのような中途半端な広さではなくて、一流の歌手が来れるくらいの大きさの会場を作るとかする。 ・駅前がさみしすぎるので、少しずつでも変えていく。etc ・農地の道を綺麗に舗装するのではなくても、もっと通学路を良くして欲しい。いまだに森山の道は細くて学生も通りあぶないのに、まったく手つかず(一例)道が細かったから、裏側に子ども(通学)専用道路とか作るとかいろいろの視点で考えていくという提案も議員の役目ではないでしょうか?
61	・各議員南画どのような活動をしているのか、全く不明。 ・委託業務の予算が契約書通り遂行されているか、精査して頂きたい。(ゴミ・農業集落排水)
62	高い志をもって頑張ってください。
63	議員人数にこだわらず、行動力のある人材なら少人数でも可能ではないかと思う。(過去に関係なく新しい発想力のある人が良い)
64	議会の定例会について感じるが、緊張感や達成意欲が全く感じられない。質問内容を通達せず行う「方式」にすべき。質問も再々質問まで行い、市民が納得できる議会討論にして欲しい。 ◎今のままの議会はパフォーマンスに過ぎない。
65	活動もわかりにくいので、HPの活発な活用と発信が必要。 小諸市は税金が高いように見え、家賃相場も上田市、佐久市、より高いです。水道代も高いので光熱水費もかかります。 上記のことを議会に意見しても改善されないでしょうけれど、お米も不足しているし生活は苦しいです。
66	日本の人口が減っていく中で小諸市のさらなる活性化は難しいと思う。なので、いかに現状維持で進めていくことが大事だと思う。 議会には現状の小諸市を良くして頂きたい、いかに衰退させないようにするか考えてほしい。
67	小諸市は他県、同県の市町村に比べ、特徴も特産物も無いので、市民がイチャオシする様な事をするのが難しいでしょう?ヘタに目立った事をして批判されると大変。今はゴミの料金、税金を安くしてほしいと思う。

68	議会で質問することが仕事をしていると勘違いした議員のためのぎかきを 開く必要があるのでしょうか。「市民の意見を聞く」といいながら、都合の良い人の話を聞いて、私見をいうだけの今の議員に、自分たちの問題や課題を相談する人はいません。自分は小諸市と市民の幸せのために必要な議員なのか・・・猛省をしてください。そもそも100も前に始まった議会制度や議員が必要な時代なのでしょうか？わずか30%程度の有権者が投票した議員選挙がひつようなのでしょうか？市民が直接参加できる市政を考えるべきではないのでしょうか？多数決が正しい時代ではないと思います。多様性の時代というなら「議員」などという特権も無くしてほしい。「幸福で自由に生きられる時代」の小諸市の進むべき方向を、市民みんなで考え、じつげんしていける新しい100年の始まりにして欲しい。市会議員のいない小諸市でも、市民の意見や考え方を行政の人とともにすすめていける小諸市を望みます。
69	女性議員がたくさん増えてよかったです。皆様のご活躍を期待しています。
70	子育て世帯に対しての環境をもう少し考えていただきたい。上田市や佐久市に比べて子供向けの施設が少ない。(子供センターなど)
71	議会だより等を通じて、議会や議員について発信していただいているが、さらに市民のだれもが小諸市議会についての理解が深まる手立てを考え実施して欲しいと思います。
72	困り事を相談する機会を多くとって、わかりやすく説明してもらいたい。
73	どんな活動をしているかわからない。
74	議会だよりもキチッとされており、十分機能している。女性の進出もあり、期待するところである。
75	日頃の活動、ご苦労様です。議員さんあつての小諸市だと常に感謝しております。ありがとうございます。
76	小諸市議会の益々のご繁栄を御祈念致します。
77	将来的に小諸を盛り上げていくのは子供である。子供にかかわる全ての議論や政策を大いに盛んに論じ、議会の情報共有をし、大人のイデオロギーに関係なく、子供たちのために優先順位を決め、決断出来る議会を大いに期待する。
78	当選すると普通の人になってしまっただけ残念。低レベルな議論はしないで下さい。
79	今の議員数と報酬での皆様、御苦労様です。市民としても頑張ります。
80	動画配信を希望。かざらない生の声を発信されては・・・！議会の素の顔が見えるといいですね。
81	議員だけの思惑ではなく、市民の生の意見を聞いて、町を、市を活性化して欲しい！
82	議員の報酬などを議員が決めるこの制度がおかしいのではないのでしょうか。議員も定年制を導入し、あまり年配の方は後世に譲るのはどうか。
83	テレビで議会の様子を時々見えています。建設的な議論を期待しています。アンケートお疲れ様。
84	議員になる人は年齢で会社を退職した人で、就活のために議員をしている人が多い。(議員定年制で良い)
85	今区長のなり手が無い。議員が区長の仕事をする。
86	今回のアンケートには関係ないけど、最近増えている熊の出没に対して今後どう対策していくのかが気になります。加増地区は小諸野岸幼稚園からも近く、日中なら絶対大丈夫という保証もないと思います。
87	市の体制を大きく変えないと、今後小諸市は他の市と比べて取り残されていくと感じます。
88	質問に対する市側の回答が熱意がない。
89	地区に関係なく議員は市全体を見て、できる限り早くに対処願いたい。
90	都市計画課に届ける事項とは思いますが、小諸駅と懐古園をつなぐ歩道橋を日常使用していて、付設されているエレベーターが夜9時で止まるのがとても不便です。もう少し遅い時間まで(電車の終電くらいまで)エレベーターが動いていたら、と思います。以上のような市に対する要望をもっと簡単に伝える方法ができるといいかと思ひます。
91	市の財源を増やす手段の一つとして企業誘致や市民が入りやすい店を増やしてほしい。若い人が定住しやすい環境尾大切ですが、市は高齢化しています。我々でも入りやすいお店がほしいです。また運転できない場合の移動手段、現代のぐるりん号等のルートや申込方法の検討。
92	市長、市職員の力が大きいと思います。選挙で選ばれている方なので、もっと力を発揮してもらいたい。市民にわかりやすい議員をお願いします。
93	時代は変革です。従来の慣習や事例にとらわれることなく、貪欲に新しいものに挑戦していく姿勢も大切だと思います。
94	もっと活発に活動してほしい。(全国的にも市議会というものに注目されている)人口減少、高齢化により、駅前に元気がない。つまらない。若い人が集まれる商店街にしてほしい。
95	いつも市民のためにお仕事ありがとうございます。
96	市の中心部は開発が進んでいる様ですが、西小諸の山間部は道路や水路のいたみもひどく、耕作地も荒れ放題になっていたり、開発の差が大きすぎると思ひます。行政として公平に目を向けていただきたい。
97	政策立案や法的知識を十分に持たないで議員活動を始めることが多いので、そのための議員をサポートする教育や研修プログラムの充実が必要と思ひます。若年層や女性など多様な意見が議会にはんえいされにくく、そのための政治参加しやすい環境づくりが急務です。
98	午前の日、午後の日に分けて議会を行えば、聴衆に行く人も多くなり、市政の事もわかるようになると思ひます。

99	我が地域の議員さんはよく働いてくれます。議会をたまには見学してみたい！！
100	小諸市だけでなく、他の市の状態も見ながら行政に取り組んでもらいたい。
101	小諸市を住みやすい市にして頂き、行政さん大変ですが、これからも頑張ってください。感謝しています。
102	・子育て世代や高齢者、住民税非課税世帯にばかり補助金を給付するのではなく、もっと企業が移転したいと思うような優遇措置にお金を使ってほしい。 ・JRとしなの鉄道の重複区間を廃止（平原付近に乗り換え駅があれば）
103	政党に関係なく、活発な議会運営が行われる事を願います。
104	副市長はどんな仕事をしているのですか？どんな人ですか？情報が少ないです。
105	どの様な議会が開催されるのか、移住者には情報源が少ないが、小泉市長さんは必ず市民の意見を考慮すると信じています。
106	様々な議論があると思います。ぜひ保護猫、地域猫にも市全体の問題として避妊、去勢手術の補助金を増やしてほしいと思います。ボランティアの方々の日々の活動を議員の方たちを始め、市民にも知っていただきたいと思います。
107	駅周辺の活性化。相乗り君佐久平駅へ。カラオケ、コスプレ、屋台、ゴミゴミしたレトロな街並み再現のテーマパークなどの秋葉原化。バラや花園を作る。その園の中で道の駅とは言わないが、直売やファーストフード風な店を出す。できる範囲でいい。外国料理メイン。衛生は要注意。ドイツのクリスマスマーケットみたいな。
108	区長職の手当がいくらかわかりませんが、同等（議員と）位あっても良いかと！！なり手不足の解決の一案として議会で！！
109	小中学生を対象とした子ども議会を開き、市長が答弁する。年1回。
110	一箇所でいろいろなものが購入できる場所が少なく、市外へ買い物に出かける事が必要になっています。そのため、停めやすい駐車場を完備した市民が気軽に買い物できるようなデパートやショッピングモールのような場所の設置を推進していただきたい。
111	何をやっているか分からないので、今の若者たちが簡単にみられるInstagramやXなどで情報発信した方が興味も湧くと思います。時代についていかないと。
112	コミュニティには地域差があると思います。市街と郊外、活発な区とそうでない区、その地区から議員さんが出なければ近くの議員さんが地区に出向くなどして（担当を決めるなど）議員さんがもっと身近な存在になっていただきたい。
113	若い方で小諸市出身の小諸市以外での経験のある方を取り入れる方法を検討すべきと思う。
114	フレッシュな発想、議員の活性化。
115	議員になったからには、市民のためにつくして下さい。
116	いろいろな曜日で行ってほしい。仕事を持っている人がいける時間位でも良いと思う。
117	選挙の時は見かけましたが、当選したらまったく見ません。何をしていますか？一部の人（親しい人）の所へは行くと思いますが、そのほかの大勢の一人として近寄っても来てくれませんか。このアンケートは公表されますか？
118	会報等により議員のほうの活動や質疑が大変よく伝わります。さらに日々のご尽力のおかげで産業・経済面でも小諸市が徐々に潤ってきていると感じています。ありがとうございます。
119	市長給料多すぎ？市内での仕事がない。年はとっても動けるうちは仕事をしたい。
120	上記、なり手問題にも関わりますが、少子化問題は重要と思います。地域、姿勢、社会、国、将来を担う子ども達が健全にしっかりした教育を受けられる体制を得る。即ち東校、西校（小中一貫集約）を取り巻く全ての環境（地区、市、県、国・）の経済発展基盤の構築を求めます。希望します。
121	地域の現状を見てほしい。美里3号線の照明が少ない。速度超過の車が多く、又和田工業団地トラックの明け方、夕方のスピード超過（80km/h）も何とかしてほしい！！
122	日々の活動ありがとうございます。園、学校など色々な所へ足を運んでいただき、現場を見て子ども、保護者、先生、いろいろな方からのお話を聴いて、小諸市が温かく安心して生活できる場所にしていただけたらと思います。
123	期待時が低い。市民からの期待が低いのはかなり問題だと思う。市民からして、だいたいの外れな事を言っている議員が多いと感じるので、必要な場所から意見を集めるべきだと思う。そこの意見の出しやすさ、わかりやすさが必要だと思います。
124	議員にお願いできる方法として、私書箱の公表をしてほしい。
125	直に話をする機会がなかなかない。弱者を取りこぼすことのないようお願いします。
126	市民の住みやすい小諸市をお願いします。
127	保守的な考えが多いと思う。もう少し若い人の考えが出せる市。小諸市出身でなくても良い。コネで票を得ない選挙が必要。
128	現在傍聴方法が直接議場に行く方法しかないなので、たとえばユーチューブで配信する等、違った形をとることも必要だと思います。（コミュニティテレビで放送していることは知っています）

129	常に小諸市をよくするために、あらゆる視点から考えて議員活動をしている議員の皆さんだとは思いますが、今はPCやスマホ等もフル活用して一層小諸市を住みやすい市にしてほしい。
130	「議会だより」の冊子は議会の事がよくわかっていいと思う。
131	若年の方も入って頂いたらよいかと・・・。
132	・市民の意見を聞く組織みたいな所があってもいいと思う。 ・年齢制限をきちんと決めてほしい。
133	議員報酬を上げて、それに見合う仕事をしていただきたい。
134	・女性が増えたことで、女性が気がつく教育やヤングケアラー等に意見を言っていただけのことはいはうれしいです。 ・他市との女性議員との交流があると聞きました。ぜひ小諸市発展のために勉強して発表してほしいです。
135	議会だよりは必ず読んでいます。小諸市の課題も多くあると思いますが、市民の意見を反映しながら、着実に前へ向かって進んでいけるよう、期待したいと思います。これからもよろしくお願いたします。
136	コミュニティーテレビでバンバン放映されるようになり、露出が多くなってくれれば良いと思います。
137	議員の方々には活動報告を義務付けるべきだと考える。3～6か月程度に1度位、文書、SNS、報告会等の手段で公開していただきたい。その経費の分も給与を今より多くすべきと考える。
138	暮らしやすい小諸市にしてください。子ども、高齢者、若者、障害者全てが安心して過ごせたり働いたりできる小諸市を。
139	市民のために色々活動してくださり、ありがとうございます。女性議員も増え、子育ても経験されている方々なので、これから成長していく子どもたちが今後も小諸はすみやすいと思うような環境を整えていただけたらと思います。
140	議員も意見があったら市民に対して強く意志をはっきり出してよい議会にしてほしい。
141	身近な問題から協議してほしい。
142	日頃の市議会の活動には感謝申し上げます。市民の声を上げにくい要望や願いについて、アンケートをとるなど市民の思いに気づいていただきたい。
143	議会開催日程と議員報酬が釣り合っていない。活動部が年間で半分以下なのに対し、年収300万円を超えるので、日本平均年収の倍近い報酬であると考え。議員報酬分を教育に活かしてください。図書館はキレイでも本がボロボロで子どもたちがかわいそう。
144	党の推薦の方々の活動の状況が一般から感じることが多い。地域の要望などは議会を通すことが多いのでしょうか？区長からの要望が多いようですが、順番は決めるのでしょうか。
145	諸々大変なことも多いと思いますが、頑張ってください。
146	議会が開かれ出席した議員に対し、別に手当が支給されると他の市民から聞いたことがあるのが本当なのか？本当だとすればおかしき議員報酬が出ているのに、議会に出席するのは当然のこと。むしろ欠席の場合、出不足を徴収してもらいたい。報酬市民の大切な税金なのだから。
147	ねこのフンがそこらじゅうにあり大変です。
148	市民が困った時相談にのってくれる議員がほしい。
149	今だけでなく10年20年後も住みやすい市になるようきちんとしたビジョンのあるように努めてほしい。
150	ネットをより活用したレポートの作成 ネットをより活用したレポートの作成 パソコンもまともに使えない人材は不用 当分は80才、パソコン、word、P.P、EXCEL、etcなど自由に使える議員さん、しっかり勉強してください。
151	現行どおり議会だよりの充実
152	日頃の活動状況がわからない。自信の無関心に因るものと思う。
153	議会からの情報公開が少なく分かりづらい。今、小諸市には、どんな問題があって、どうやって解決しようとしている案があるのか、わからない。 紙ではなく、検索しやすいように、電子化して公開して欲しい。 議会は、市に対するチェック機能が弱い。
154	議員報酬が少ないと答えたが、例えば少子化対策等で税収が明らかに改善されれば、気にせず報酬を上げれば良い。 市全体が良くなるよう市政をお願い致します。
155	不勉強で3の回答は分からないとしましたが、定数削減、報酬増額は適当だと思います
156	地域の声を聞き、市政に反映して下さる議員さんであれば、有権者としてもしっかり支えていく責任があると思います。 議員さん方の活動の様子が、今よりも広くかつ簡便に多くの人の目や耳に入る方法があればと思います。
157	市民にとって本当に有益だと思うことをしてほしい。

158	市民から見て住みやすい、子育てしやすい、住み続けたいと思われる市政を行ってくれるのであれば自ずと報酬増額も可能かと思われる。 現状周辺自治体と比べ小諸市の政策は見劣りする(特に子育て世代への政策)ため、市民からの理解は得られにくいかもしれない。
159	調べてないので申し訳ありませんが、例えば安芸高田市などのように議会中継や配信があるといいと思う。 我が家はCTKも加入していないため、情報の拾い方はかなり限られていると思う。
160	いつもお疲れ様です。 合併や都市化ではなく、小諸市だからこそその市政を行っていただきたいです。 シンプルですてきになると嬉しいです。
161	金銭問題のあった人がいる。選挙とお祭りのときだけ活躍している印象です。
162	無投票になる選挙は良くない。 東御市や、御代田と合併。 祇園と懐古園の花見と紅葉祭り以外活気がない。全ては新幹線が止まらない事から起きている。 動物園も、遊園地も、中途半端。 佐久市に入るのもいいのでは？
163	市長報酬多いと思います。
164	年寄り議員達は古い意見やり方で固まりすぎ 全員引退すれば市の問題はかなり解決するのでは？なり手も増えるでしょう。
165	今回のアンケートは、先に検討結果ありきで、市民アンケートを後付けで実施して議員定数、報酬を原案通りに施行するアリバイ造りに利用している。 先にアンケートを実施してから、議員定数、報酬は検討するのが当たり前だ。 議会の自作自演の茶番に無駄な経費を使わないでもらいたい。
166	もっと、荒地の整備や持ち主への勧告などを、積極的に行ってほしい。市役所へ連絡して聞いたが、区長さんに話して下さいの、一点張り。区長さんに頼んだが、区長さんも話はするが、強制は出来ない。議会に上がる問題以外にも、市民にとって身近な問題を積極的に取り扱って、活動して、市民にとって生活が、よりよくなるようお願いしたい。 小諸市のコモロビも身近な地元民が行く施設ではなく、観光客がメインとなっているが、小諸にお金を使ってもらえているとは思えないので、メリハリをつけた環境作りをお願いしたい！ 小諸市民の為の施設、観光客にお金をつかって、小諸におとしてもらえる施策など。
167	高校になると手当がなくなり、お金がかかる時期なので困る。また、高校を卒業後も学生の間は、手当が出ると有り難い。難しいかもしれないが医療費が大人と同じく料金になってしまうので困っている。
168	★アンケートに記入して頂いた方の意思を尊重し、個人が特定される部分の削除のみ行い、原文をそのまま掲載させて頂いております。
169	地域の生の声や子育て世代の関心は何かをしっかりとご自分の力で聞いて頂きたい。 市議会に興味がわくような、活動をして頂きたい。 一部の人だけが潤う無駄遣いはやめて頂きたい。

★アンケートに記入して頂いた方の意思を尊重し、個人が特定される部分の削除のみ行い、原文をそのまま掲載させて頂いております。

小諸市議会議員定数・報酬を検討する  
意見交換会の結果について

開催日

令和6年10月6日（日）午後6時30分～

令和6年10月8日（火）午後6時30分～

小諸市議会

# 小諸市議会議員定数・報酬を検討する意見交換会

## 質疑・意見等 一覧

- 開催日時 令和6年10月6日(日) 午後6時30分～  
令和6年10月8日(火) 午後6時30分～
- 会場 両日とも小諸市市民交流センター2階
- 参加者 令和6年10月6日(日)：13名 10月8日(火)：12名
- 説明会では、パワーポイントで概略（資料参照）を説明し、その後皆様からの質疑及び意見交換を行いましたので、要約して掲載しました。

### 【定数についての質疑・意見】

No.	月日	カテゴリー	質疑・意見	回答
1	10/6	定数・質疑	定数1人減で検討したということだが、1人減としたときの議会活動への影響はどのようになるのか。常任委員会についてどのように考えるか。1人減であまり影響がないのかの検討はされたのか。	現在3常任委員会、各委員会6人。 常任委員会の人数は7人から8人が良いとする識者の考え方もあります。2常任委員会とした場合、どちらかの委員会が1人多くなることもあります。
2	10/6	定数・質疑	15人でも良いのではないか。諏訪市は15人。視察にも行かれたとのこと、15人でスムーズに回っているのか、研修の概要を知りたい。	諏訪市議会は議員定数を23人から15人に削減したことにより、常任委員会や広域の会議等での一人当たりの仕事の負担が増加し、住民意思の反映が難しくなったとの意見でした。なお、近隣の岡谷市、茅野市は議員定数は18人です。

No.	月日	カテゴリー	質疑・意見	回答
3	10/6	定数・質疑	<p>審査会は議員の定数については審議しない。議員定数については時間があるので、定数と報酬を比例で考えなくてもよいと思う。1人くらい減らしても影響ないということか。</p> <p>人口減少を見据え、定数はもっと減らすという意見はでなかったのか。</p>	<p>定数においては、現状のまま、減らした方が良い、増やした方が良いとの意見もありましたが、財政、面積、学校数等も含めて検討し、1人減で意見がまとまりました。</p>
4	10/6	定数・意見	<p>地方議会の役割は多岐にわたっている。定数を減らすことで議員の負担は重くなる。一方で兼業もできず、なり手不足もあり、議員を増やすことも考えないといけない。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
5	10/8	定数・質疑	<p>議会の役割を全うしていくには最低議員は何人必要かの検討はしているか。</p>	<p>類似団体市との議員定数比較のほか、財政、面積、学校数等も含めて検討しました。</p>

【報酬についての質疑・意見】

No.	月日	カテゴリー	質疑・意見	回答
1	10/6	報酬・質疑	町村は報酬20万でやっ ていてなり手はいる。大規 模でなく、人口が減ってい る。2万.3万規模の村との 比較でも良いのはないか。	類似団体の市で比較しました。近 隣の町村とは財政・予算額・人口 等が違うので比較は難しいと思 われます。
2	10/6	報酬・意見	議員報酬が増えた方が多 様な人材で立候補しやす い。1つの仕事として市議 会議員を考えると、手取り 額で、子どものことなどを 考えると心配。報酬があが ればもう少し積極的に参 加できると思う。	ご意見として承ります。
3	10/6	報酬・質疑	年収はどのくらいか。	報酬と期末手当で年間550万円か ら560万円です。
4	10/8	報酬・意見	議員のレベル・質・役割を 担っていただき、小諸市の 行政機関を監視し、役割を 全うしてほしい。小諸市へ の貢献がみえてくれば、45 万でも問題ないと思う。	ご意見として承ります。

【定数・報酬全般についての質疑・意見】

No.	月日	カテゴリー	質疑・意見	回答
1	10/6	質疑	中間報告を発表したが、具体的に報酬・人数はまとめられているか。	定数1人減員で、20,000円増額ということで意見がまとまっています。令和7年1月までに委員会で最終の方向性をまとめます。
2	10/6	質疑	今回の定数・報酬の検討のスタートは議員のなり手不足が理由か。	若い世代の立候補を促すために、報酬を上げていきたいと考えています。
3	10/6	質疑	議員のなり手不足の要因は他にもいっぱいある。委員会でなり手不足の要因について議論があったか。	なり手不足については、4年前に自治体にアンケートを行いました。報酬の引き上げが議員のなり手の増加に結び付いたという明確な理由は見いだせませんでした。様々な角度で検討を行いました。
4	10/6	意見	なり手を増やすには議員報酬に頼らない議論が必要、報酬をあげることは悪くないが、議員の質をあげてほしい。	ご意見として承ります。
5	10/6	質疑	前回の調査では、報酬もアップしない。定員も変更しない、としていた。類似団体との比較を町村を対象にしないのか。	類似団体の市で比較しました。近隣の町村とは財政・予算額・人口等が違うので比較は難しいと思われれます。
6	10/8	質疑	定数を減らして、報酬を上げればよい。議員の質を上げた方がよい。議員活動日数の11.78日の日数カウントの計算について疑問がある。地域の会議があったり、勉強などは集計になぜ入れなかったのか。	報酬の対象は議会活動であるので、私的な活動は除いたため。

No.	月日	カテゴリー	質疑・意見	回答
7	10/8	意見	定数は二人減らしたらどうか。議決を考えると17人にすると議決しやすい。 報酬については、地域や諸活動をもっとやるべきであり、永く報酬が据え置きだったので、45万とか50万に条例の改正は思い切っすべきと考える。他の市はどうだとかでなく、もう少し議員の皆様のレベルアップを望みたい。	ご意見として承ります。
8	10/8	質疑	限られた人数でどうやるか。という理解でよいか。報酬と定数どちらを取るか。予算の枠はあるのか。	定数と報酬は別で考えるべきです。今後皆様からのご意見を参考に検討します。

【その他】

No.	月日	カテゴリー	質疑・意見	回答
1	10/6	質疑	御代田や軽井沢と比較してほしい。	類似団体の市で比較しました。近隣の町村とは財政・予算額・人口等が違うので比較は難しいと思われます。
2	10/6	意見	政務活動費は使い道が限られている。政務活動費を増やして、市民に議会の活動を広く伝え、もっと市民と意見交換することも必要。	ご意見として承ります。
3	10/6	質疑	兼業は行ってよいのか。	兼業は認められております。ただし、小諸市と継続的な取引がある個人事業主については、年間 300 万円までと規定されています。
4	10/6	質疑	政務活動費はいくらか。	政務活動費は月額 12,000 円です。使い道は限られており、収支報告の提出が義務付けられています。

# 二元代表制の一翼で ある議会形成のために

## 議員定数・議員報酬を検討する 意見交換会

令和6年10月

小諸市議会・議員定数及び報酬等検討委員会

1

## 小諸市の変遷

小諸市は、昭和29年4月1日に小諸町と三岡村、南大井村が合併して市政を発足。

昭和32年2月1日に北佐久郡御代田町の一部を編入、昭和34年4月1日に小県郡東部町の一部を編入して現在の小諸市の姿になっています。

2

## 議会。地方自治の変遷（1）

- ★平成23年地方自治法の一部改正により人口区分で定められていた議員定数の上限が撤廃され、各自治体が自由に議員定数条例を定められるようになりました。
- ★平成23年6月1日に地方議員年金制度が廃止となる ⇒ 3期以上地方議員を務めると貰っていた議員年金がもらえなくなりました。
- ★平成28年12月議会において、議会運営及び議会活動に関する最高規約として、「小諸市議会基本条例」を制定しました。

## 議会。地方自治の変遷（2）

- ★平成31年1月に実施された市議会議員選挙では、市政発足以来、初めて立候補者が議員定数（19名）と同数であったため無投票選挙でした。
- ★その無投票選挙を踏まえ「議会と語る会」で、議員定数、報酬などについて市民の皆様と意見交換を実施したことなども影響したのか、令和5年1月の選挙では、女性や幅広い年代の立候補者が相次ぎ、定数より4人上回る有投票選挙となりました。

## 議会基本条例の検証

★議会基本条例規定に基づき次期選挙の1年前  
(令和7年12月)を目途に議員定数、議員報酬等について調査、検討を進めています。

○小諸市議会議員の定数に関する条例  
平成25年12月20日  
小諸市議会議員の定数を19名とする。

○小諸市議会議員の議員報酬に関する条例  
平成10年10月1日  
(議員報酬)  
議会の議長、副議長及び議員の議員報酬は次の通りとする。

議長	月額	418,000円	⇒	月額	427,000円	に変更
副議長	月額	347,000円	⇒	月額	354,000円	に変更
議員	月額	326,000円	⇒	月額	333,000円	に変更

5

## 地方議会をめぐる現状

近年の地方議会では

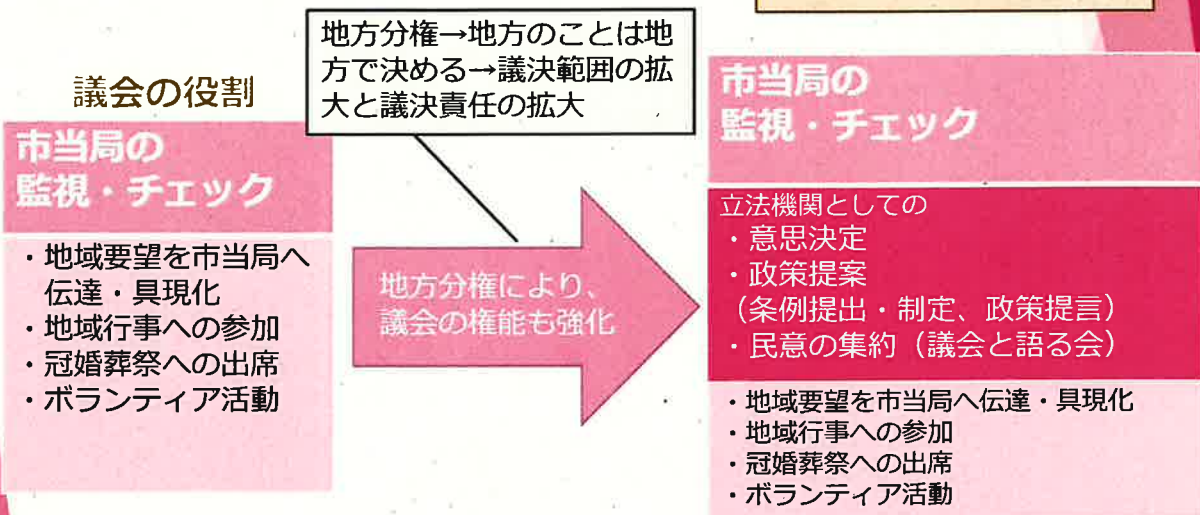
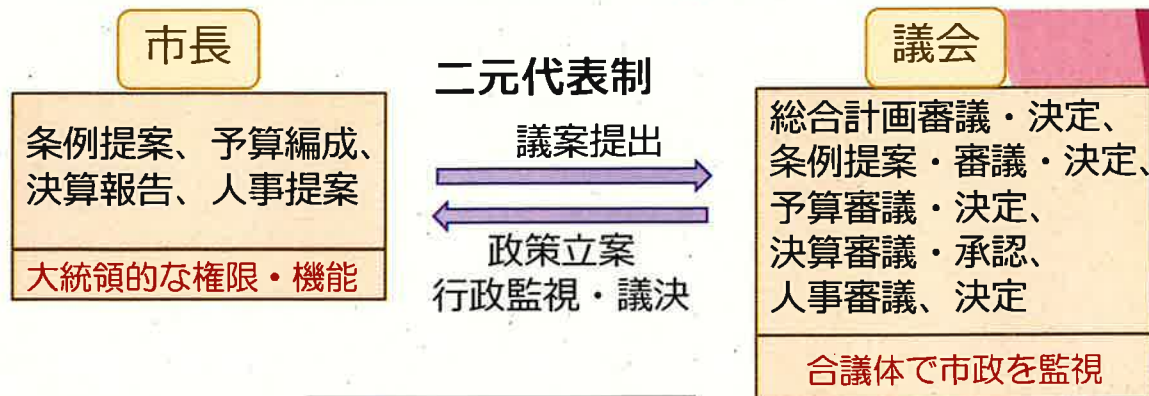
人口減少、少子高齢化、ニーズの多様化など、社会生活が変化してきている中で、地方自治を支える地方議会では立候補者の定数割れなど、全国各地で「議員のなり手不足」が顕在化しています。

立候補する人がいなくなったらどうなるのかな？



6

# 地方議会の役割は変化している⇒活動の活発化



7

## 委員会での進め方

### ★経過

- ①日程表の作成
- ②基礎資料の調査・収集
- ③調査資料等の比較、分析
- ④各委員の意見発表(協議、検討)
- ⑤意見集約
- ⑥委員会としての中間報告書の作成  
(議員全員に示す)

### ☆委員構成は8人

### ★資料の収集

- 全国の人口39,000人~44,000人の35市の比較資料
- ・定数：平均 17.9人(小諸市より1.1人少ない)
- ・報酬：平均 349,253円(小諸市より16,253円高い)

8

## 委員会としての議員定数・ 議員報酬に関する論点・留意点

### 議員定数

- ① 地方分権や地方創成と議会の役割・機能発揮の視点
- ② 近隣市・類似市等との比較からの視点
- ③ 小諸市の人口推移や財政状況からの視点
- ④ 行政改革と議会改革・活性化からの視点
- ⑤ 識者の意見を参考としての視点

### 議員報酬

- ① 議員報酬額の算出根拠は何を基準にすべきか。
- ② 近隣市・類似市等との比較からの視点
- ③ 市長や市職員、民間企業等の勤務日数と給料との比較からの視点
- ④ 小諸市の人口推移や財政状況からの視点
- ⑤ 識者の意見を参考としての視点

## 人口、市税、議員定数、議員報酬、市長報酬の推移

項目 年度	人口 (人)	市税 (億円)	議員定数 (人)	議員報酬 (円)	市長報酬 (円)	参考事項
昭和30年			30			
昭和58年			<b>28</b>			
平成3年			<b>26</b>	326,000		
平成10年			26	<b>333,000</b>		議員報酬改正
平成11年			<b>24</b>	333,000		定数改正
平成18年	44,523	50.2	24	333,000	<b>759,000</b>	
平成19年	44,306	56.9	<b>21</b>	333,000	759,000	定数改正
平成20年	44,268	56.9	21	333,000	<b>893,000</b>	市長報酬改正
平成23年	43,602	51.5	21	333,000	893,000	年金廃止
平成27年	43,350	52.5	<b>19</b>	333,000	893,000	定数改正
令和5年	41,562	57.4	19	333,000	893,000	

## 議員・市長報酬及び給料比較

項目 職別	月活動量 (日)	報酬 ・給料 (千円/月)	期末手当 寒冷地手当	通勤手当 費用弁償	扶養手当 住居手当 時間外手当	退職金	年金 健康保険 補助50%
議員	11.78	333	△	○	×	×	×
市長	25.4	893	○	○	×	○	○
市職員	20	40才代 398	○	○	○	○	○
		50才代 456	○	○	○	○	○
民間企業	20	40才代 456	○	○	○	○	○
		50才代 566	○	○	○	○	○

※給料については、長野県人事委員会の給料資料を参考。

11

## 活動量から議員報酬を考える

全国町村議会議長会の報酬検討方式案(※)を参考に、市長の活動量と比較し、検討のひとつの材料とする

(※平成30年3月に全国町村議会議長会の「町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会」が行った中間報告において示された議員報酬の算定の手法(仮)。全国町村議会の現状調査や、先駆的な取り組みを勘案する中で提示されたもの)

**市長と議員の活動時間を3カ月間調査した合計時間を、市役所職員の勤務時間である1日を7時間45分で割った結果は**

市長の月平均日数  $76.24日 \div 3ヶ月 = 25.41日$

議員の月平均日数  $35.34日 \div 3ヶ月 = 11.78日$

【考察】 1. 活動日数では、市長は議員の2.15倍であった。

2. 月額報酬では、市長は議員の2.68倍であった。

(退職金・社会保障費は考慮しない数値)

※ 市長の職務遂行日数は年間305日；モデル値として設定

12

## 議員報酬と手取りの額（議会での研修）

林 紀行教授の研修

（日本大学法学部公共政策学科）

論文『地方議会議員のなり手不足問題  
と兼業の禁止』（2023年3月）



### 林教授の手取り（概算）の考え

議員報酬	333,000円
所得税・住民税・国民健康保険等の支払額	74,150円
手取り額	258,850円

### 50才代議員の実情

議員報酬	333,000円
所得税・住民税・国民健康保険等の支払額	84,171円
手取り額	248,829円

13

## 議員間討議での主な意見

### 議員報酬

- 年金や退職手当などの身分保障がない中で、若い子育て世代や女性など、有能で多様な人材の立候補を促すためには報酬の増額が必要である。
- 平成10年の報酬引き上げ以来、定数を削減し続け、議員の活動量は増え、公的控除は上がり続けている。
- 昔と比べて議員活動が活発化し、兼業も難しく、議員報酬が準給与化している状況の中では、どうしても報酬を引き上げる必要がある。
- 議員報酬を引き上げることで市の予算に占める議会費が増えるのでは市民の理解は得られない。

### 議員定数

- 人口減少に合わせて、議員定数も削減すべきである。
- 必要以上に議員を削減すると、市民の民意がくみ取れなくなる。
- 議員報酬を引き上げるには、議員定数を削減して議会費の増額を少なくするべきである。

14

# 本日の説明会でのテーマ

年齢・性別・職業が限られることなく、志のある様々な人が  
議員を目指す環境として

① 定数はどうであればよいか？

② 報酬はどうであればよいか？



## 小諸市議会 議員定数・報酬 を検討する 意見交換会の開催について

日付：①令和6年10月6日（日）②令和6年10月8日（火）

時間：両日とも、午後18時30分から午後20時（予定）

場所：小諸市市民交流センター 2階 会議室3



小諸市議会では、「議員定数・報酬等検討委員会」を設置し、次期選挙（令和9年1月）からの議員定数・報酬について協議を行ってきており、この度、検討委員会としての中間報告をまとめました。

今後、最終報告書を作成するにあたり、皆様のご意見等を参考にさせていただくため意見交換会を開催しますので、多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

※事前申し込みは不要です

お問い合わせ

小諸市議会事務局

〒384-8501

小諸市相生町三丁目3番3号

メール：gikai@city.komoro.nagano.jp

FAX：0267-22-2422

電話：0267-22-1700

内線2403

### パブリックコメントの募集

意見交換会に参加できない方も、小諸市議会事務局宛に郵送・メール・ファックス・直接持参いずれかの方法でご意見をお寄せください。

募集期間：令和6年10月7日（月）～令和6年10月25日（金）

#### 意見募集を行う案件

次期選挙からの小諸市議会議員定数・報酬について

パブリックコメントの詳細につきましては小諸市のホームページをご覧ください。

主催：小諸市議会

小諸市議会議員定数・報酬に対する  
パブリックコメントの結果について

令和6年10月7日（月）～

令和6年10月25日（金）まで実施

小諸市議会

## パブリックコメントの結果について

### 【意見募集の概要】

案 件 名	小諸市議会議員定数及び議員報酬について
募集期間	令和6年10月7日（月）～令和6年10月25日（金）
担当部・課	小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会 小諸市議会事務局

### 【集計結果】

意見提出人数	4人
意見数	22件

### 【意見の検討結果】

① 修正します。	意見に基づき、報告書を修正するもの
② 意見として承ります。	報告書は修正しないが、今後の取組の参考とするもの
③ 原案のとおりとします。	検討した結果、修正等しないもの
④ その他	定数・報酬に関する意見でないもの (感想や質問)に回答するもの

### 【意見及び検討結果等の一覧】

No.	項目	意見（概要）	検討結果及び理由	
1	報酬	議員報酬を月額報酬と共に年額報酬で実態が分かる表示が必要です。	① 修正します。	最終報告書の資料として追加します。
2	報酬・定数	月額2万円の増額は良いが、財政優先で1人削減し帳尻を合わせている。 安易な定数削減は議会の弱体化の恐れと言いながらの削減はおかしい。	②意見として承ります。	矛盾する点もありますが、財政面も考慮しての中間報告です。
3	その他	議会の役割は執行権に対する監視機関だけでなく、民意を反映することです。議会の質問などは具体的に建設的な対案を持って質問することであり、定数・報酬より優先です。	②意見として承ります。	議会基本条例第25条に基づき定数・報酬の検討をしています。 一般質問についてはご指摘の意見を活かしたいと考えます。

4	報酬・ 定数	<p>平成27年に21人から19人になってからどう変化しているのか聞きたい。議員一人当たりの負担増となったのか、それとも問題なく運営されているのか、問題がないとすると議員報酬を増額し、定数を減員させるのが良いと思う。</p> <p>【理由】定数：日本の人口が減っている。</p> <p>【理由】報酬：物価高、生活費が高騰する中で、報酬だけ据え置きは時代に即していない。</p>	②意見として承ります。	<p>委員会としての考え方と同じです。</p> <p>現状の議員数で特に問題なく運営されています。</p>
5	その他	<p>議会を子育て世代、これからの地域社会を担っている人が活躍・活発に意見交換ができる場所にしてもらいたい。分野の専門家になって頂き小諸市の更なる飛躍の一翼を担ってほしいと思います。</p>	②意見として承ります。	<p>ご意見を参考として議会改革を進めます。</p>
6	報酬	<p>平均値との比較だけで解を導くのは難しい。責務を果たし、成果を出していれば財政の許す範囲で増額してよい。</p>	②意見として承ります。	<p>平均値を参考としましたが、財政、面積、学校数等も含めて比較した結果です。</p>
7	定数・ 報酬	<p>同程度規模の自治体の平均との比較で、定数1人少ない、報酬は1万6千円高いから導きだしているように見えるが、もっと考えなければいけない項目があるのではないかと。</p>	②意見として承ります。	<p>平均値を参考としましたが、財政、面積、学校数等も含めて比較した結果です。</p> <p>議会が機能するにふさわしい定数・報酬についても議論した結果です。</p>

8	定数	<p>海外との比較で日本の議員数は多いと言われています。</p> <p>議会の「機能を果たすために必要な人員はどうか」という視点で検討を希望します。</p> <p>議員も職員と同様に市内を区割りしてそのエリアを担当したらどうでしょうか。</p>	<p>②意見として承ります。</p>	<p>他国と比較すると多いと感じる方もいると思います。</p> <p>議員は職員と違い選挙で選ばれるのでエリア担当の区割りは難しいです。</p>
9	報酬	<p>なり手不足の要因のトップは報酬との記事を起点に議論を進めているが、無投票の後の選挙では報酬は改正されていないのに選挙戦となった。報酬アップがなり手不足の要因でない証左です。</p>	<p>②意見として承ります。</p>	<p>意見交換会では報酬アップが解決策のトップであるとの記事を参考として説明したものです。</p>
10	報酬	<p>議員報酬が低くても議員になっている方々が沢山いる。</p> <p>報酬を上げた市の状況を確認するだけでなく町村の議員活動等をヒアリングすれば気付くこともあると思う。</p>	<p>②意見として承ります。</p>	<p>市と町村では人口や予算規模等に違いがありそれと同様に仕事量や議会審査量が違うので類似市との比較としました。</p>
11	報酬	<p>報酬が比較しやすいような数値の提示が必要。</p> <p>手当を含めた年収の表示してほしい。</p> <p>民間企業の数値の出典、企業規模を教えてください。</p>	<p>① 修正します。</p>	<p>手当も含めた年間の収入基礎は報酬額であるので、その比較としました。</p> <p>最終報告書には手当を含めた総額を掲示します。</p> <p>民間企業については、長野県人事委員会勧告の比較対象とする企業の表示です。</p>

12	その他	<p>なり手不足対策のひとつとして議員、議員活動の魅力のアピールをするのはどうか。</p> <p>議員にアンケートを実施し、開示したらどうか。</p> <p>アンケート設問</p> <p>議員になろうとしたきっかけ(理由)</p> <p>議員としてやりがいを感じる時</p>	②意見として承ります。	なり手不足のご意見として考察させていただきます。
13	その他	<p>生坂村の議員報酬アンケートで出された意見 「①なり手を増やすには報酬にとどまらない多様な議論が必要」「②報酬をあげることは悪くないが、住民の声に日頃から耳を傾けるなど議員活動の質を上げてほしい。」</p> <p>私的意見ですが、議会の皆様はどう考えますか。</p>	②意見として承ります。	当委員会としても議員のなり手不足の打開策が報酬の引き上げだけにとどまらないとの考えです。市民の皆様の意見を行政へ伝えるのが役目だと思います。
14	報酬	<p>定数を1人減、報酬を2万円増とした場合の議員報酬総額を教えてください。</p>	①修正します。	最終報告書には手当を含めた総額を記載します。
15	その他	<p>定数・報酬の意見交換会(説明会)があることを回覧板で案内がされたようですが、議会だより・広報こもろへの掲載がなかったようですが、理由はありますか。</p>	②意見として承ります	議会だよりは議会毎の発刊であり、広報こもろでの周知より回覧板での周知が有効であるとの考えです。
16	報酬・定数	<p>議員活動が忙しい状況という説明がありました。それなら削減でなく増員することで議員の負担が軽減でき、市民の声に向き合える。</p> <p>議員報酬を増額するのではなく、退職金、年金など現在含まれていない部分を検討すべきではないか。</p>	②意見として承ります	少子高齢化と人口減少が進展する現状での議員増員は市民の皆様の理解は得られない、議員の退職金や議員年金は地方自治法等での規定がないので条例化して支給することは難しいと考えます。

17	その他	<p>○議員としての活動を充実するために、政務活動費を大幅に増額した方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>○議会の中で定数・報酬の議論が始まっていることを知らない市民がいる中で議論が進んでいたことに納得できない。せめて中間報告をする前に市民の声を聞く機会を持たなかったのか説明がほしい。</p>	②意見として承ります	<p>政務活動費は使途が定められております。今回は議員の生活給的な報酬を検討することを主眼としましたので政務活動費の検討はしていません。</p> <p>・中間報告書案がないと議論が進まないとの考えです。</p>
18	定数	<p>議会の役割は市政をチェックすることが大きな役割だと思っています。議員が減ることで市政のチェック機能がおろそかになったり、市民の声を議会として受け止め、そして市政に反映できるか心配です。</p>	②意見として承ります	<p>当委員会でも議員の削減は避けたいとの考えですが、人口減少等を考慮すると避けられないとの思いです。</p>
19	その他	<p>小諸市議会は前々回は無投票であり、前回は定数を上回り選挙となりましたが、議員報酬が増えたわけではありません。立候補するに至った思いを議会として把握したのでしょうか。</p> <p>市民により身近に感じてもらえる議会にしていかななくてはいけないということが無投票時に話し合ったと思いますが、そういう点について議会からの発信が届いていないと感じます。</p>	②意見として承ります	<p>無投票選挙から議会として令和元年7月の議会と語る会において無投票について市民の皆様と意見交換を行っています。</p> <p>その内容等については議会だよりでお知らせしました。</p>

20	その他	<p>信濃毎日新聞紙上では「報酬が低い」ことがイコール議員のなり手不足ということが書かれていましたが、議会という存在が市民から離れたものになってしまったことの方が大きいと思えます。議員がもっと情報を市民に発信するための政務活動費の増額を実施してはどうか。</p>	<p>②意見として承ります</p>	<p>報酬が高ければ、なり手不足が解消できるとは考えませんが、考察が必要と考えます。政務活動費は使途が定められております。今回は議員の生活給的な報酬を主眼としたので政務活動費の検討はしていません。</p>
21	定数	<p>議員定数の削減の根拠として小諸市と同規模人口の自治体との比較が数値として示されました。人口規模だけでなく、財政状況や予算規模、議会費の割合はどうか知りたいです。</p>	<p>②意見として承ります</p>	<p>平均値を参考としましたが、財政、面積、学校数等も含めて比較した結果ですが、最終報告書には提示します。</p>
22	その他	<p>年明けには最終報告書を出さないといけないということですが、拙速に議論を進めず、市民の声を聞きながら進めてほしい。議員の退職金や年金の在り方についても必要であれば国へも意見書をあげるなどの方法を考えてほしい。</p>	<p>②意見として承ります</p>	<p>市民の皆様の見解聴取としてアンケート、意見交換会、パブリックコメントを実施しています。厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書を提出していますが、退職金は地方自治法での規定がないので条例化は難しいと考えます。</p>

※いただいたご意見は要約し概要として掲載しています。